

クライムキの ロックミシン

.....KM504

ご使用のてびき



このたびはベビーロックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

修理やアフターサービス等でミシンを送付する必要がある場合があります。そのため、梱包箱は捨てないで保管されることをお勧めします。

安全にご使用いただくために

ご使用していただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。

このミシンは、日本国内向け・家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

▲ 警告

→ 感電、火災の恐れがあります。

- ◇一般家庭用の100V電源をご使用ください。
- ◇使用後やミシンから離れるとき、また停電したときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



▲ 注意

→ 感電、火災、ケガの原因となります。



- ◆コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。



- ◆お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、安全に対し十分に注意を払ってください。



- ◆以下の場所でのご使用および保管はなさないでください。
 - ・強力なスポットライトや熱器具のそば、直射日光の当たる場所
 - ・スプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所
 - ・高い場所 ・お子様の手の届く場所※ミシンの使用温度は0℃～40℃です。

- ◆ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。



- ◆以下のときは、必ず電源を切ってください。
 - ・メスの交換をするとき
 - ・針糸やルーパー糸をセットするとき
 - ・針板を交換するとき
 - ・押え金を交換するとき
 - ・ランプの交換をするとき
 - ・針を交換するとき※ランプの交換は、ガラス部分が冷めてから行ってください。

- ◆ミシン本体やコントローラー、電源コードの分解・改造等はしないでください。
- ◆電源コードの接続に、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- ◆電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- ◆ミシン本体の換気穴をふさがないでください。
- ◆ミシン内部にドライバーや異物を入れしないでください。また糸くずやホコリがたまらないようにしてください。
- ◆以下のときはミシンのご使用を中止し、お近くの販売店にご相談ください。
 - ・電源コードまたは電源プラグが破損、劣化したとき
 - ・落下などにより破損したとき
 - ・ミシンが濡れたとき
 - ・異常な臭いや音がするとき
 - ・正常に作動しないとき
- ◆操作中は針から目を離さないようにし、針、はずみ車、天秤、ルーパーなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- ◆ミシンには正規の部品をご使用ください。また曲がった針や破損している針はご使用にならないでください。
- ◆縫製中に布を無理に引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ◆ミシンを移動するときは、把手を持って行ってください。
- ◆操作時は、ミシン本体のカバー類（メスカバー等）はすべて閉じてください。

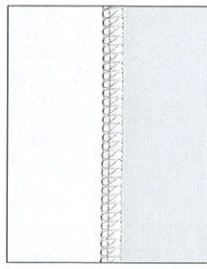
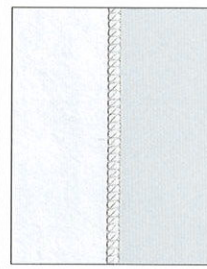
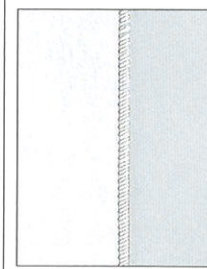
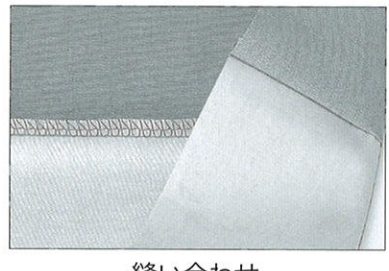
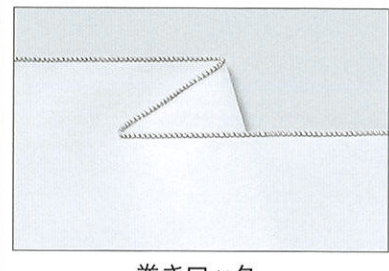
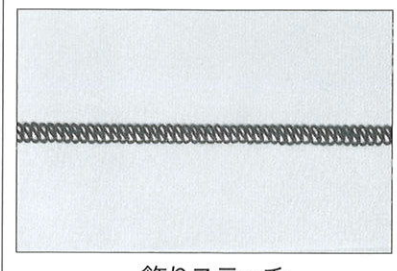
目次

■安全にご使用いただくために	1
■目次	2
■縫い方のいろいろ	3
■このミシンの主な特長	4
1 各部の名称	5
2 付属品と縫うための準備	6
付属品、アンテナのセット、コントローラーのセット	
3 試し縫い	7
縫い始め～縫い終わり、メスの固定	
4 糸かけ	
糸かけ全体図	9
糸かけの準備（はずみ車の固定）	10
下ルーパー糸	11
上ルーパー糸	12
右針糸・左針糸	13
太い糸のかけ方	15
5 糸調子	17
6 かがり幅、送り目、押え圧力の調節	19
かがり幅ダイヤル、送り目ダイヤル、押え圧力の調節	
7 あこ～でおん（差動）レバー	20
8 3本糸ロックでの縫い方	21
9 巻きロックでの縫い方	22
10 2本糸ロックでの縫い方	23
11 針・メスの交換と掃除について	24
針の交換	
メスの交換	
掃除と注油について	
12 押え金の取り付け・取り外し方／バルキー押えの使い方	25
押え金の取り付け・取り外し方	
バルキー押え（付属）の使い方	
13 セパレート押えの使い方／アタッチメント各種	26
14 基本的な縫いテクニック	28
外角を縫う	
内角を縫う	
カーブを縫う	
糸端の始末	
15 修理を依頼される前に	29
■仕様	30

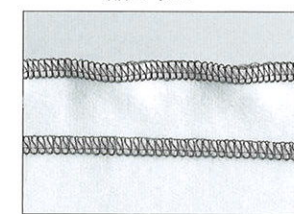
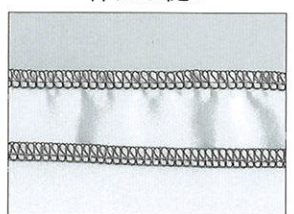
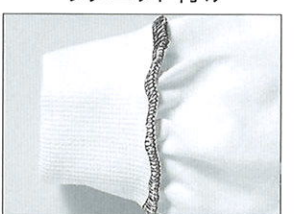

縫い方のいろいろ

このロックミシンは縁かがりだけでなく、下記のような多彩な縫い方ができます。また、この他にも工夫次第でいろいろな縫い方ができますので、想像力をフルに活用して、あなただけのオリジナル作品を創造ください。

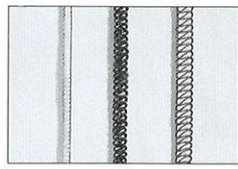
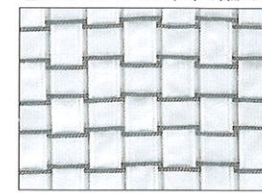
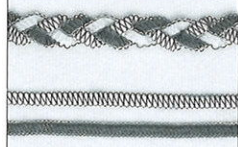
■基本的な縫い

 <p>2本針4本糸 厚物や縫い合わせをするときに。</p>	 <p>1本針3本糸 縁かがりとして。</p>	 <p>1本針2本糸 飾り縫いに。</p>
 <p>縫い合わせ</p> <p>二重安全縫いの丈夫な縫い合わせができます。 縁かがりと縫い合わせが一度にできてとってもスピーディー。</p>	 <p>巻きロック</p> <p>オーガンジーやジョーゼットなど、薄物の縁かがりに最適。パーティードレスなどのフリルやコサージュ作りには欠かせません。もちろん巻きロックでも縫い合わせができます。</p>	 <p>飾りステッチ</p> <p>太い飾り糸や段染めの糸を使い、生地表にロックの縫い目を出して強調します。</p>

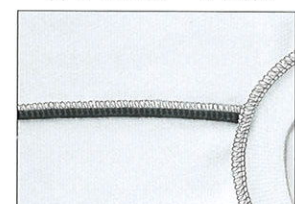

■あこ〜でおん（差動）を使った縫い

<p>縮み縫い</p>  <p>ニットなど伸びやすい生地やバイヤスをきれいに仕上げます。</p>	<p>伸ばし縫い</p>  <p>薄地など縮みやすい生地を縮みなく美しく仕上げます。</p>	<p>リブニット付け</p>  <p>袖口のリブニット付けやフレアスカートへのムも簡単に美しく。</p>	<p>袖山のいせ込み</p>  <p>差動比（縮み量）を変えながら縫えるので、自然ないせ込みに。</p>
---	---	--	---

■その他の飾り縫い

<p>ピンタック</p>  <p>ブラウス等の飾りとして</p>	<p>巻きロックの市松編み</p>  <p>両側を巻きロックで縫った布を市松状に交互に重ねていきます。</p>
 <p>空環プレート</p> <p>ひもに空環を絡ませて、飾りにします。</p>	<p>etc.</p>

■付属のアタッチメントを使った縫い目

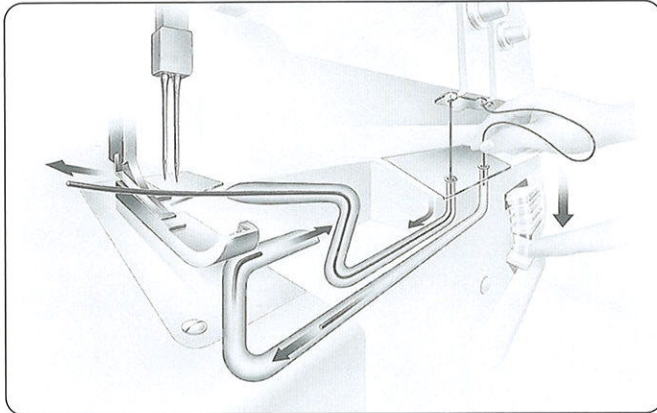
<p>伸び止めテープ入れ</p>  <p>トレーナーの肩部分など、伸びやすい箇所に、伸び止めテープ（ウーリスピンテープ）を入れながら縫うことができます。</p>	<p>フリル付け</p>  <p>二枚の生地を縫い合わせるときに片方の生地だけにギャザーを寄せて縫うことができます。</p>
--	---

このロックミシンの主な特長

このロックミシンはエアスルーシステム(自動エア糸通し)を代表とする数々の特許機能を装備しています。また使う方の立場に立った工夫も数々されていますので、下記の機能をご活用いただき、ソーイングをお楽しみください。

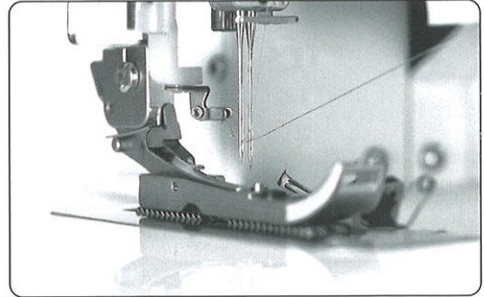
エアスルーシステム (自動エア糸通し)

いままでのロックミシンの最大の難点は糸通しの複雑さにありました。ところがこのミシンは、空気の力を使って上ルーパー糸・下ルーパー糸を、素早く通すことができます。(P10参照)



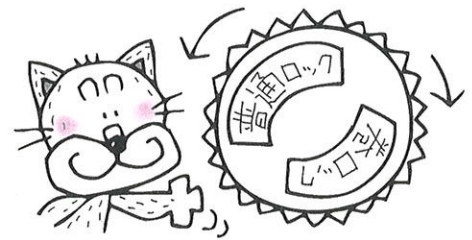
ラクスルー (自動針糸通し)

レバー操作の簡単操作で、小さな針穴に糸を通すことができます。(P13参照)



送り目&巻きロック切換ダイヤル

送り目(縫い目長さ: 1~4mm)の変更はダイヤルを回すだけでできます。また普通ロック↔巻きロックの切換もこのダイヤルでできます。(P19参照)



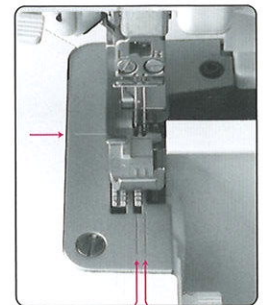
あこ~でおん (差動) システム

伸ばし縫い/縮み縫いがレバー操作で簡単にできます。縫いながら差動比を変更することもできます。(P20参照)



針板の指針

針板に針位置を示す指針が付きまして。角縫いのとき等に便利。



左右針

メス固定ツマミ

飾り縫いなどのメスを使用しない時は、このツマミをクルッと回すとメスが動かなくなります。生地を切らないで縫いたい時とても便利。(P8参照)



かがり幅変更ダイヤル

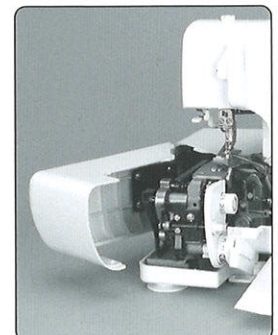
かがり幅(縫い幅)の変更はこのダイヤルを回して行います。

4本糸 5.5mm~7.5mm
3本糸・2本糸 3.0mm~7.5mm
(P19参照)



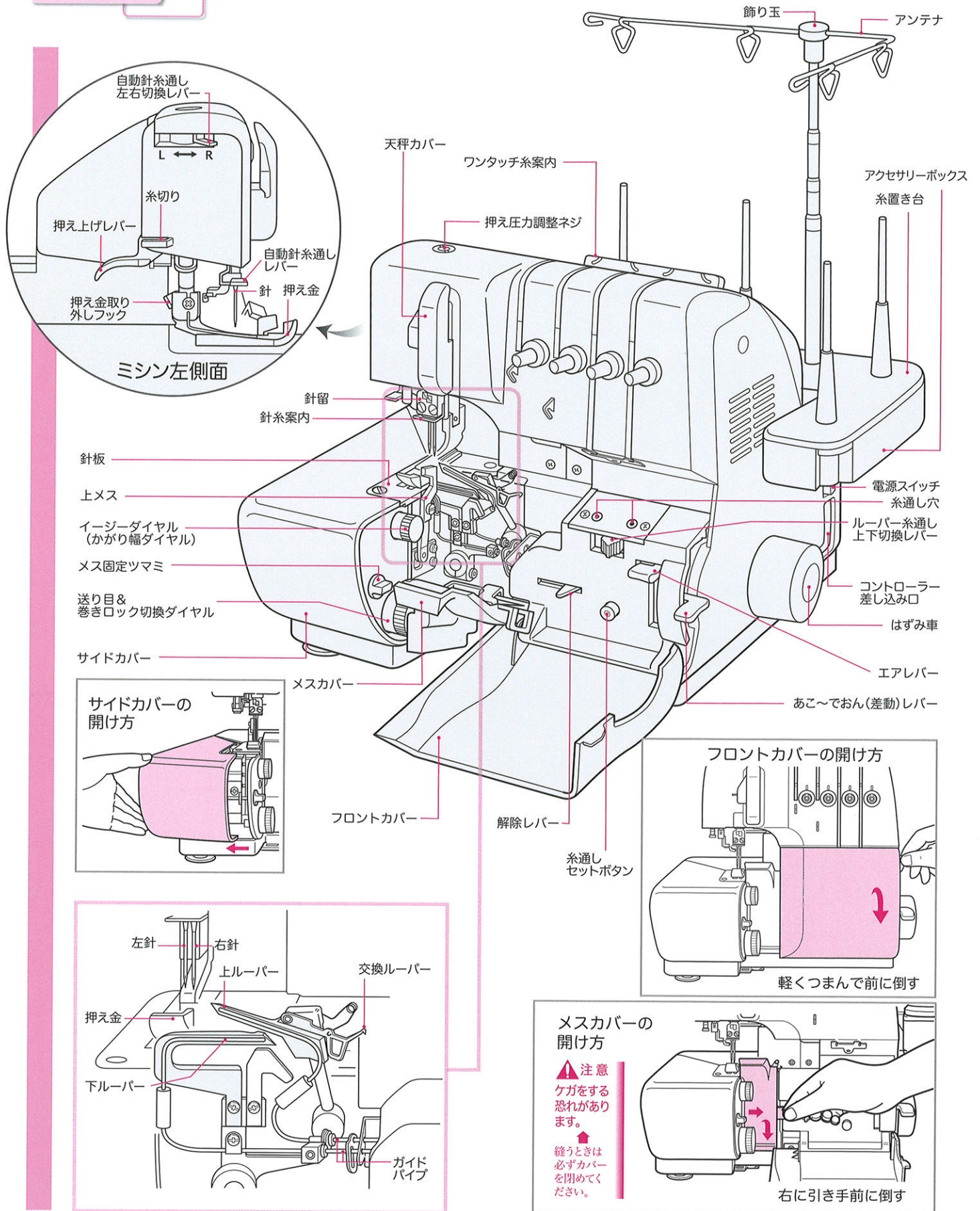
開閉式 サイドカバー

サイドカバーが簡単に開閉できるのでお掃除がラクラク。



1

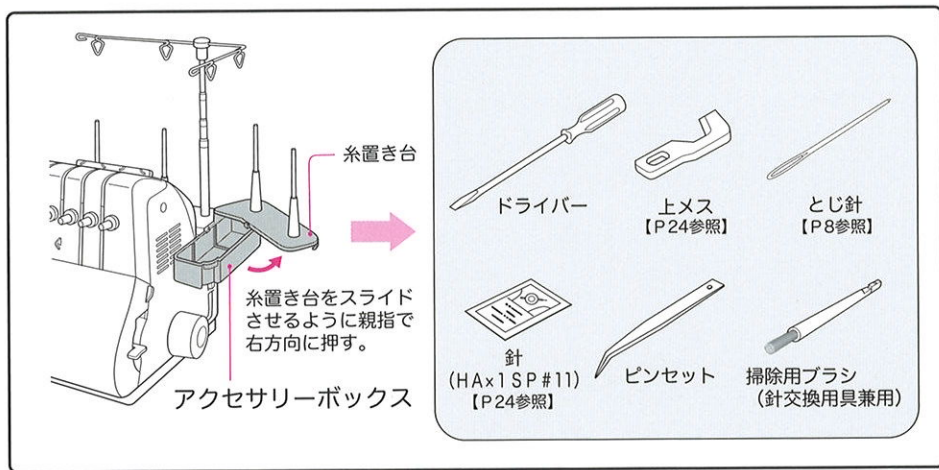
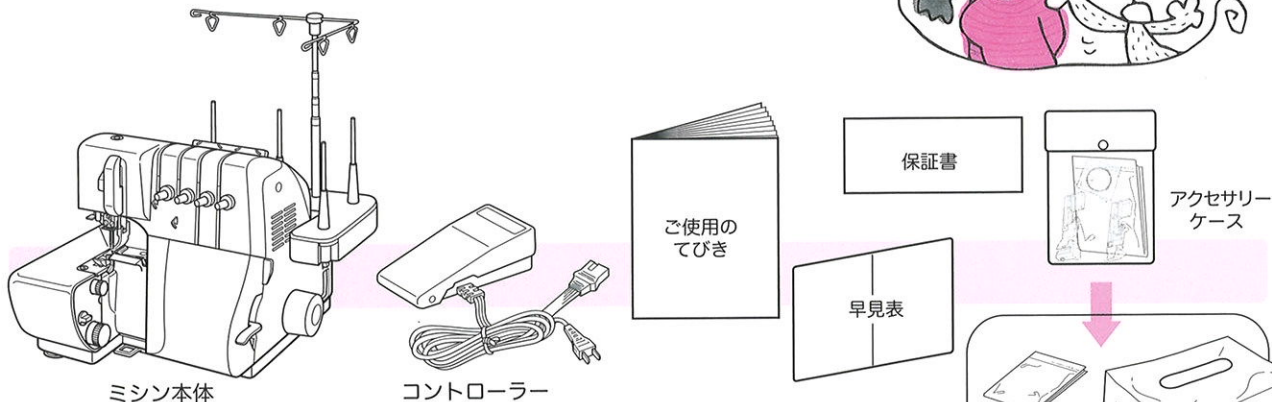
各部の名称



2

付属品と縫うための準備

下記のものが入っていることを必ずご確認ください。

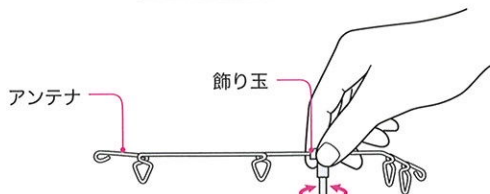


縫うための準備

1) アンテナのセット

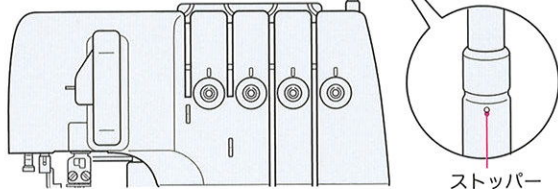
1 飾り玉を持って真上に引き伸ばす。

このとき糸がアンテナやそのほかの部分に絡まっていないことを確認。



※アンテナは必ずいちばん上まで引き伸ばしてください。

2 アンテナを左右に振ってストッパーを固定する。

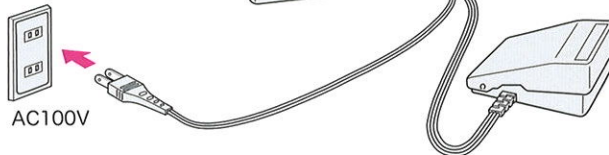


2) コントローラーのセット

2 電源スイッチを [I] にすると通電状態となり、照明ライトがつく。

1

コントローラーのプラグをミシン本体と家庭のコンセントに差し込む。



注意
火事の原因になります。

◆プラグをコンセントに長時間差し込んだままにしない。
◆コントローラーの上に物を乗せない。

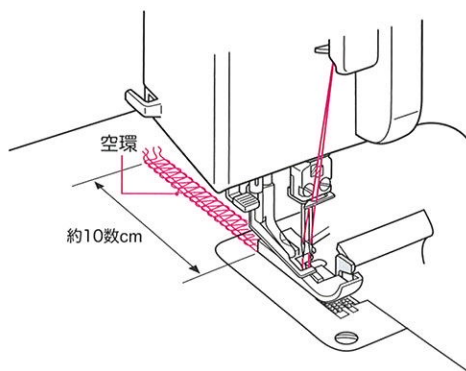
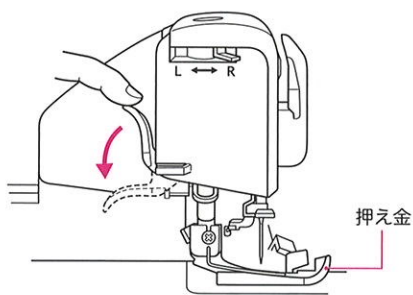
スピードの調節
強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

3

試し縫い

縫い始め

1 押え金が下りていることを確認し、コントローラーを軽く踏んで「空環」を約10数cm出しておく。



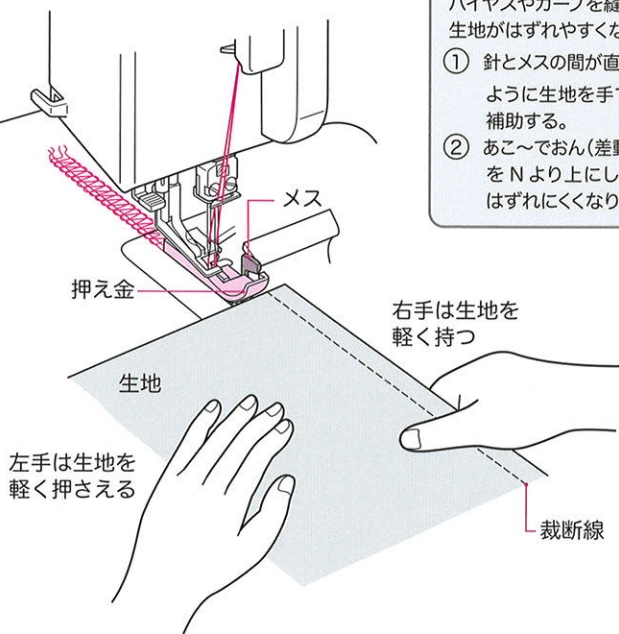
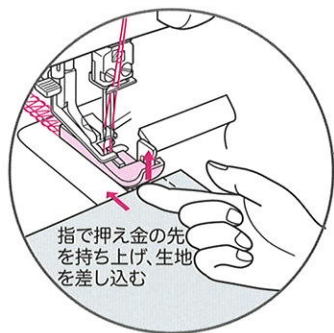
コントローラー

スピードの調節
強く踏むと早く、弱く踏むと遅くなります。

2 メスに裁断線を合わせて生地を置く。

このとき押え金を上げる必要はありません。縫い始めると、生地は押え金の下へ自然と入っていきます。

注意
ケガをする恐れがあります。
針・ルーバー・メスの動く範囲に指や手を持っていきなさい。



ワンポイント
バイアスやカーブを縫うときは生地がはずれやすくなるため、
① 針とメスの間が直線になるように生地を手で直線に補助する。
② あこ〜でおん(差動)レバーをNより上にして縫うとはずれにくくなります。

こうあればもっとカンタン!

針
メス
左針の指針
針板の右端
4 mm切り落とす
生地
縫い代 1cm
かがり幅ダイヤルを「M」。縫い代を1cmにして、生地端を針板の右端に合わせれば、自然と4 mm切り落とすこととなります。

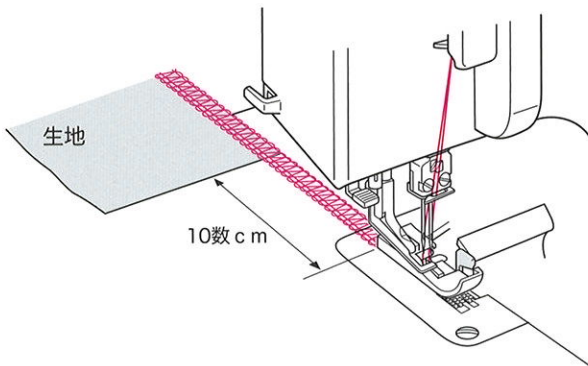
3 コントローラーを踏んで縫い始める。



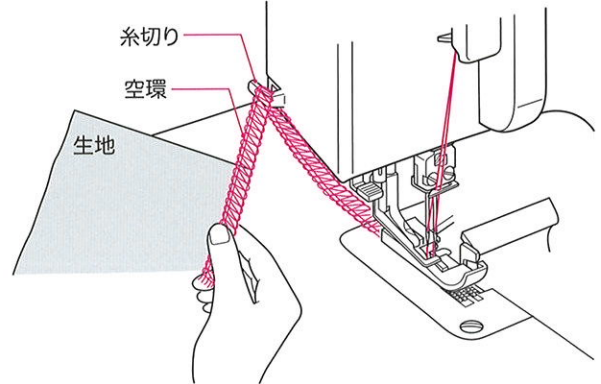
初心者にお勧め!
★メスを使わないで縫う
厚地を縫う場合や何枚も重ねて縫う場合は、仕上り線まで裁っておいてから、メスを使わずに縫うとスムーズに縫うことができます。また失敗したとき、切っていないので、もう一度ほどこいてやり直すことができ安心です。

縫い終わり

- 1** 生地を縫い終わったら、そのまま空縫いをし、
からかん
 「空環」を約10数cm出しておく。

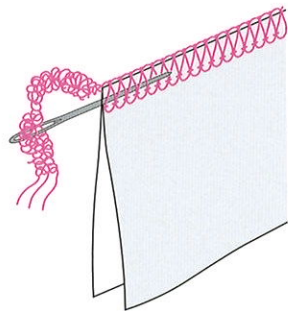


- 2** 最後に「糸切り」で「空環」を切る。

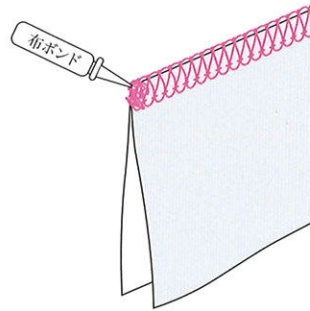


からかん 「空環」の始末

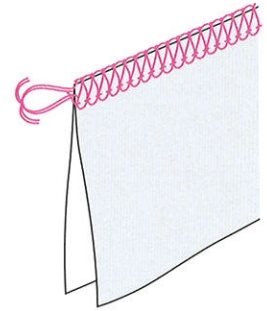
縫い終わった後、「空環」は右のような方法で始末します。



付属のとじ針で裏の縫い目に通しておきます。



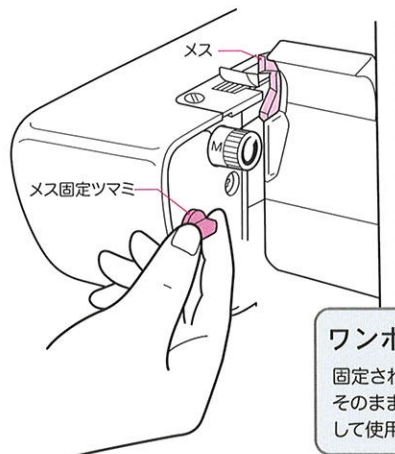
「空環」を布端で切って布ボンドで固めます。



「空環」の糸をほぐして結びます。

メスの固定

ピンタックや飾りステッチなど、メスで布地を切らないで縫う場合は、メス固定ツマミを【固定】にしてください。メスが動かなくなります。



ワンポイント

固定されたメスは、そのまま布ガイドとして使用できます。

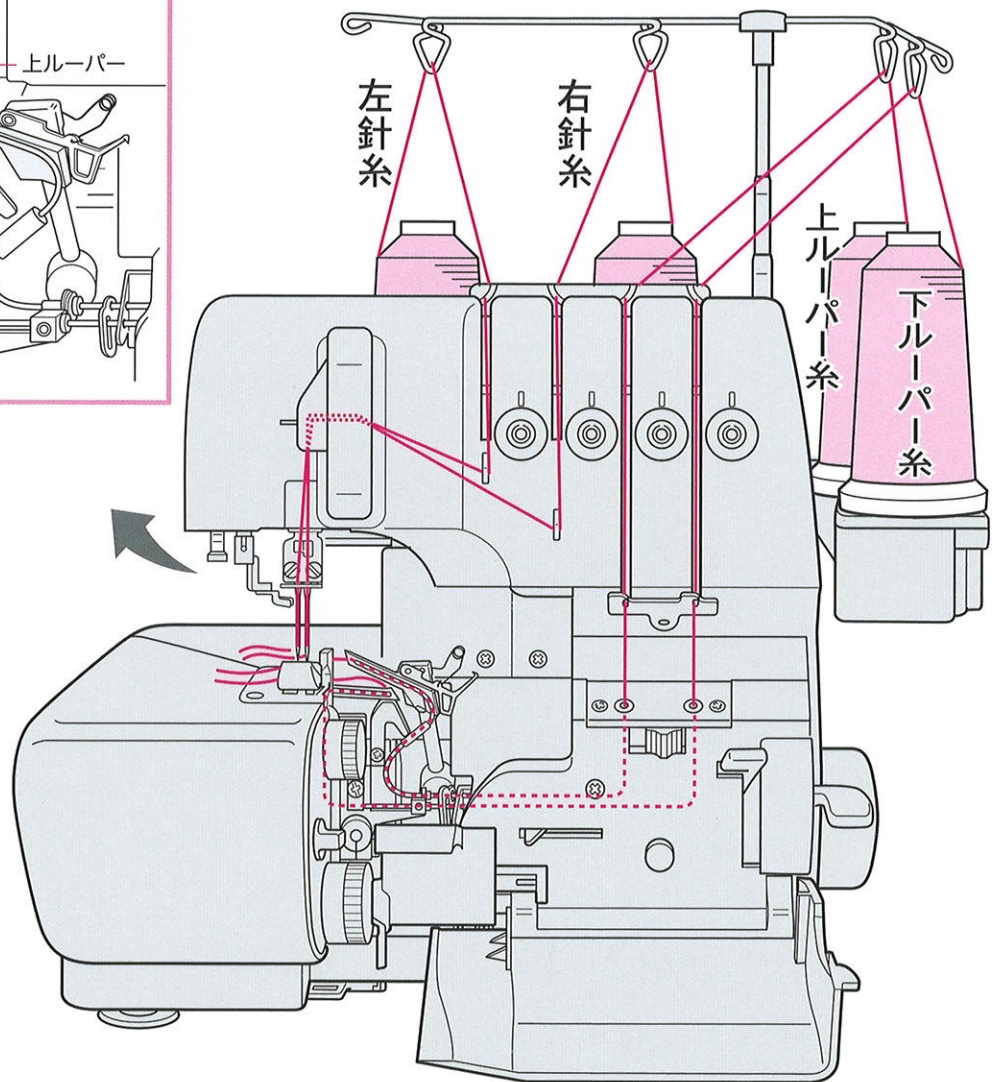
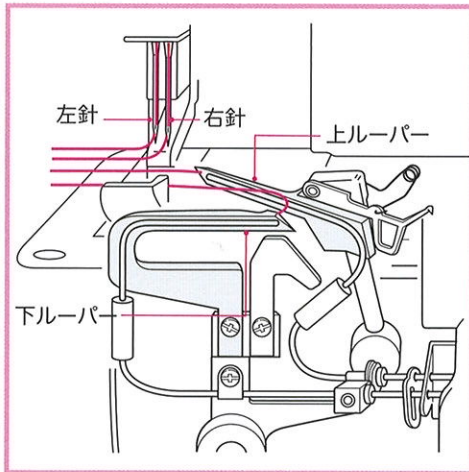
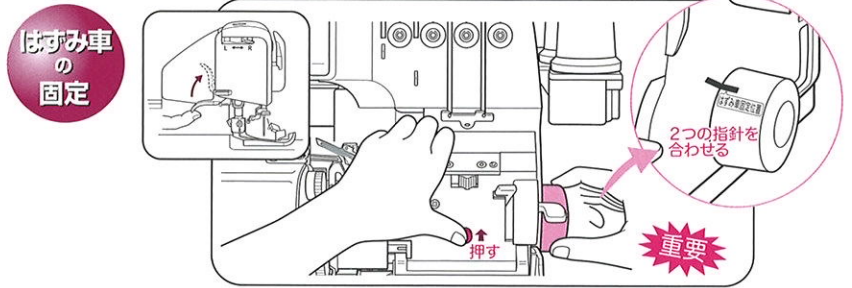
4

糸かけ

糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P10参照)

糸かけ 全体図

どの糸からかけてもかまいません。
糸が切れた場合は、その切れた糸だけをかけ直してください。



注意 ケガをする恐れがあります。

糸かけをする場合は必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

□使用する糸について

テロン糸、スパン糸、ウーリー糸、飾り糸、金糸、極細毛糸など市販されているほとんどの糸を使用することができます。また普通ミシンと違い、伸縮性のあるニット地等を縫う場合でも、水着やレオタードなどの特別な場合を除き、レジロン等の伸縮性のある糸を使う必要はありません。

※古い糸や粗悪な糸を使用すると、糸切れや目飛び、糸調子の乱れの原因になりますので、使用しないでください。

ルーパーの糸かけをするときはエアスルーシステム（自動エア糸通し）を使います。エアスルーシステムは、まず下記の「はずみ車の固定」を行ってください。ラクスルー（自動針糸通し）を使うときも同様に「はずみ車の固定」を行ってください。

また、糸かけが終わったら忘れずに「固定の解除」を行ってください。

糸かけの前に

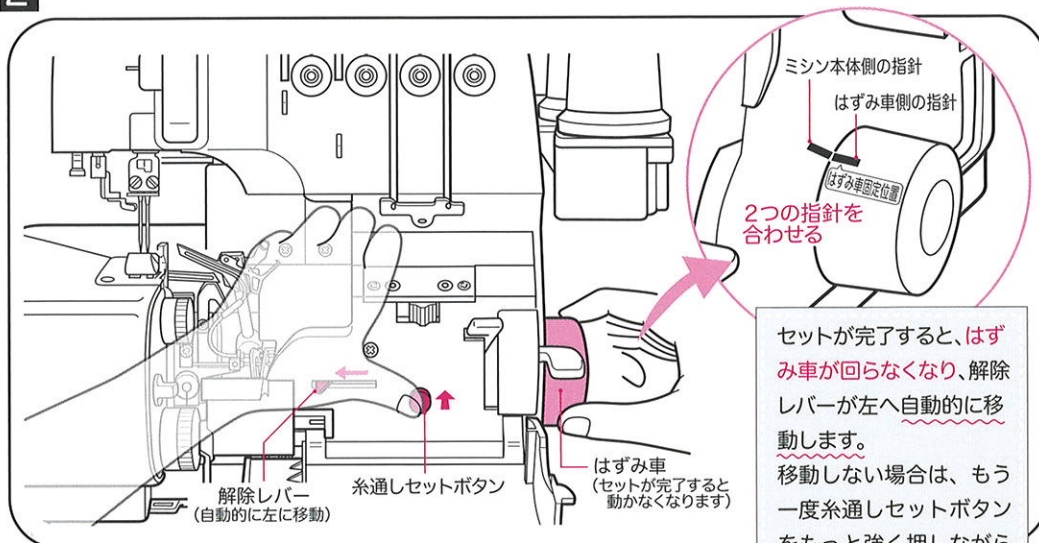
はずみ車の固定

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。



はずみ車の
の
固定

- 2 はずみ車の指針を合わせてから、糸通しセットボタンを「カチッ」と音がするまで押し込む。

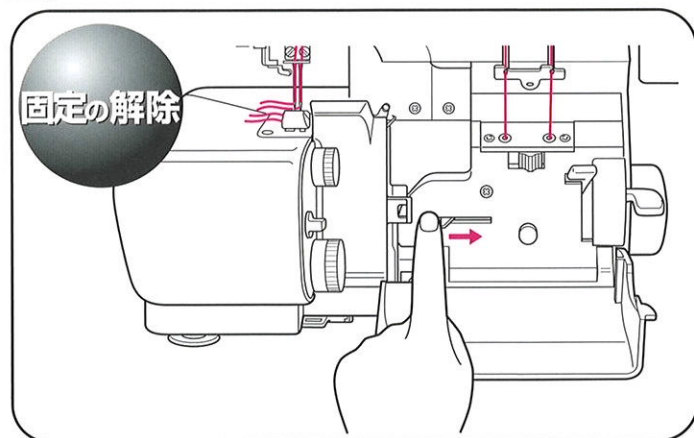


セットが完了すると、はずみ車が回らなくなり、解除レバーが左へ自動的に移動します。移動しない場合は、もう一度糸通しセットボタンをもっと強く押しながらはずみ車を少しだけ前後に回してください。

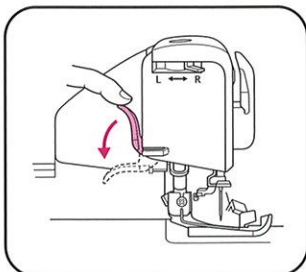
P11およびP16にしたがって糸をかける

糸かけが終わったら

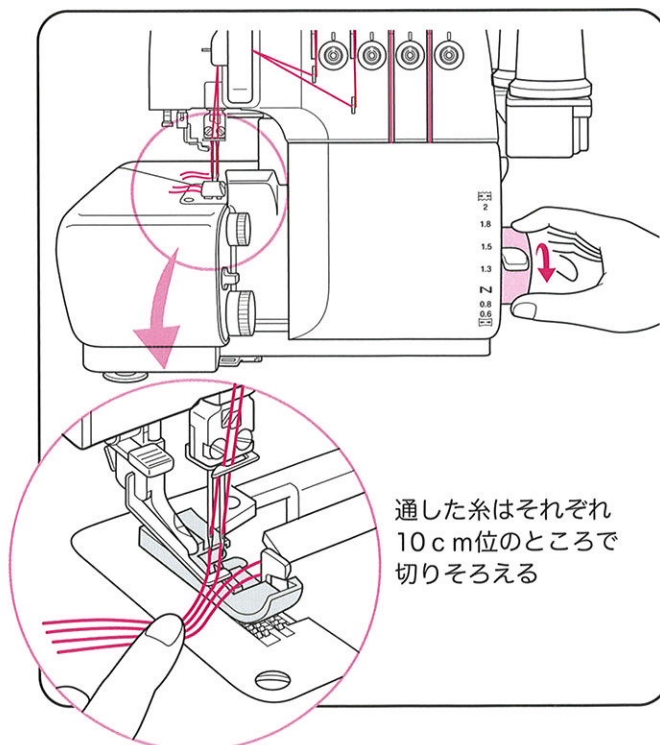
- 1 解除レバーを右にスライドさせる。



- 2 押え上げレバーで押え金を下げる。



- 3 最後に4本の糸を軽く押え、はずみ車を数回まわして、空環がうまくできるか確認する。



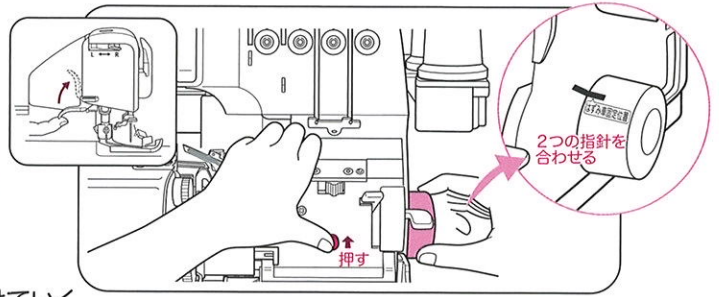
糸かけ

下ルーパー糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P10参照)

重要

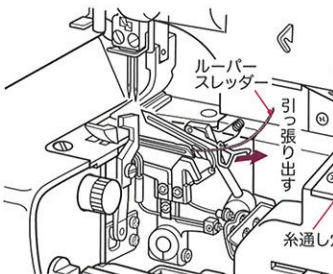
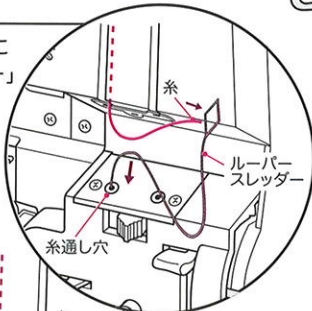
はずみ車の固定



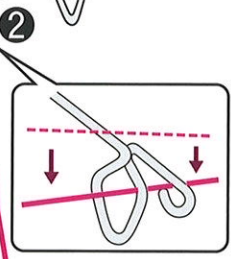
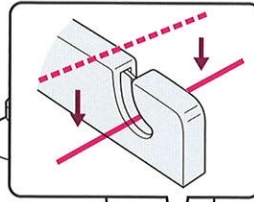
2 番号にしたがって糸をかけていく。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!

【付属】
ルーパースレッダー
(糸通し具兼掃除具)

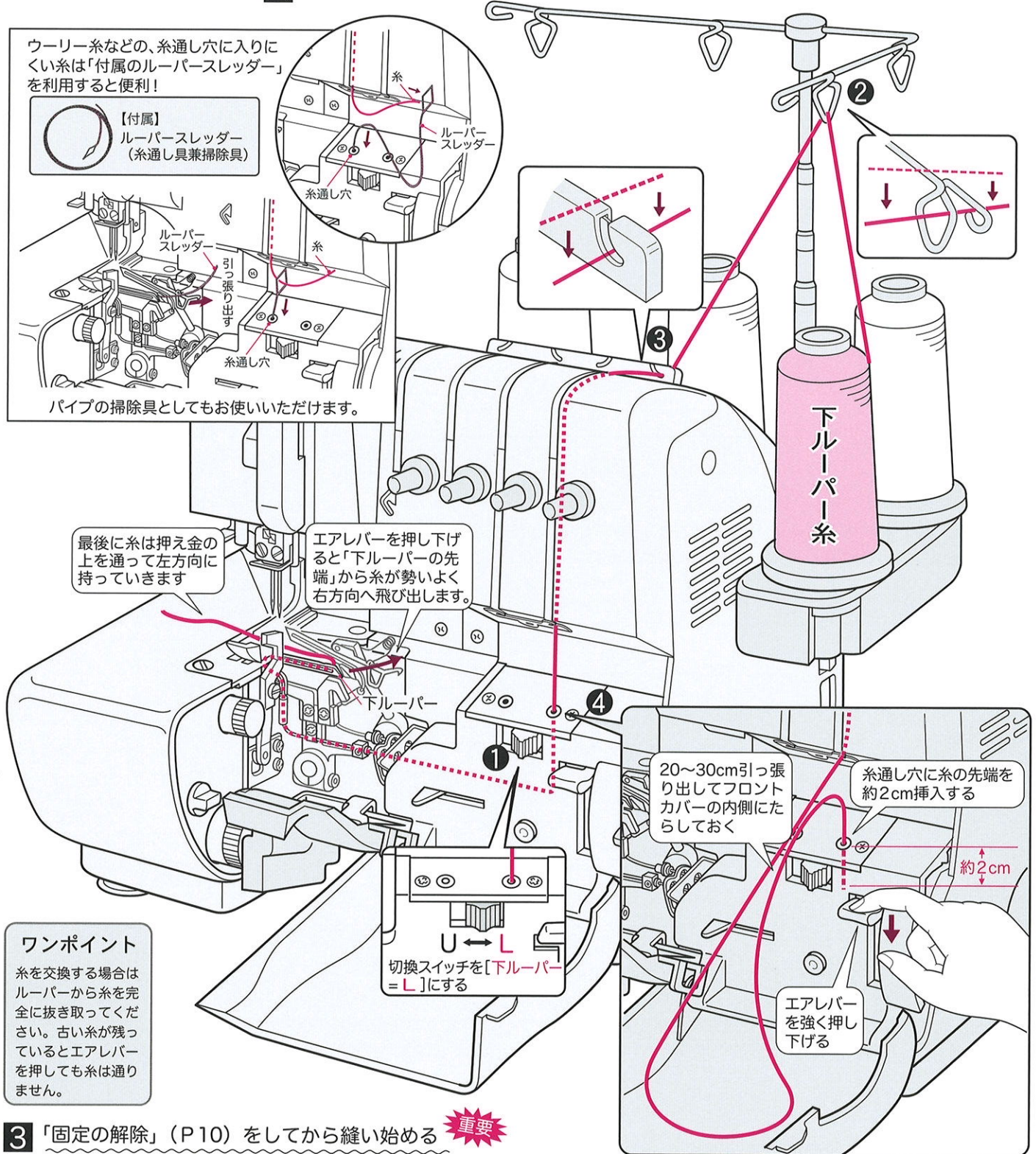


パイプの掃除具としてもお使いいただけます。



最後に糸は押え金の上を
通って左方向に持っていきます

エアレバーを押し下げると「下ルーパーの先端」から糸が勢いよく右方向へ飛び出します。



ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

U ← L
切換スイッチを「下ルーパー=L」にする

20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらしておく

糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

約2cm

エアレバーを強く押し下げる

3 「固定の解除」(P10) をしてから縫い始める

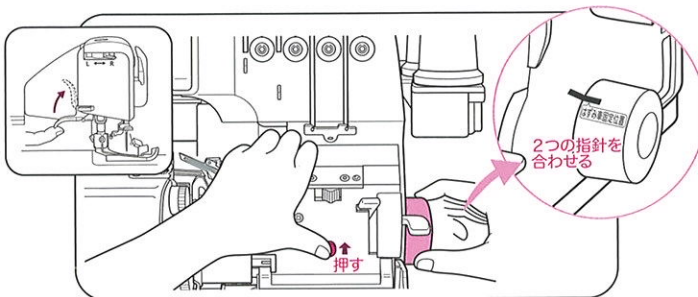
重要

上ルーパー糸

1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P10参照)

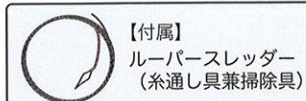
重要

はずみ車の固定

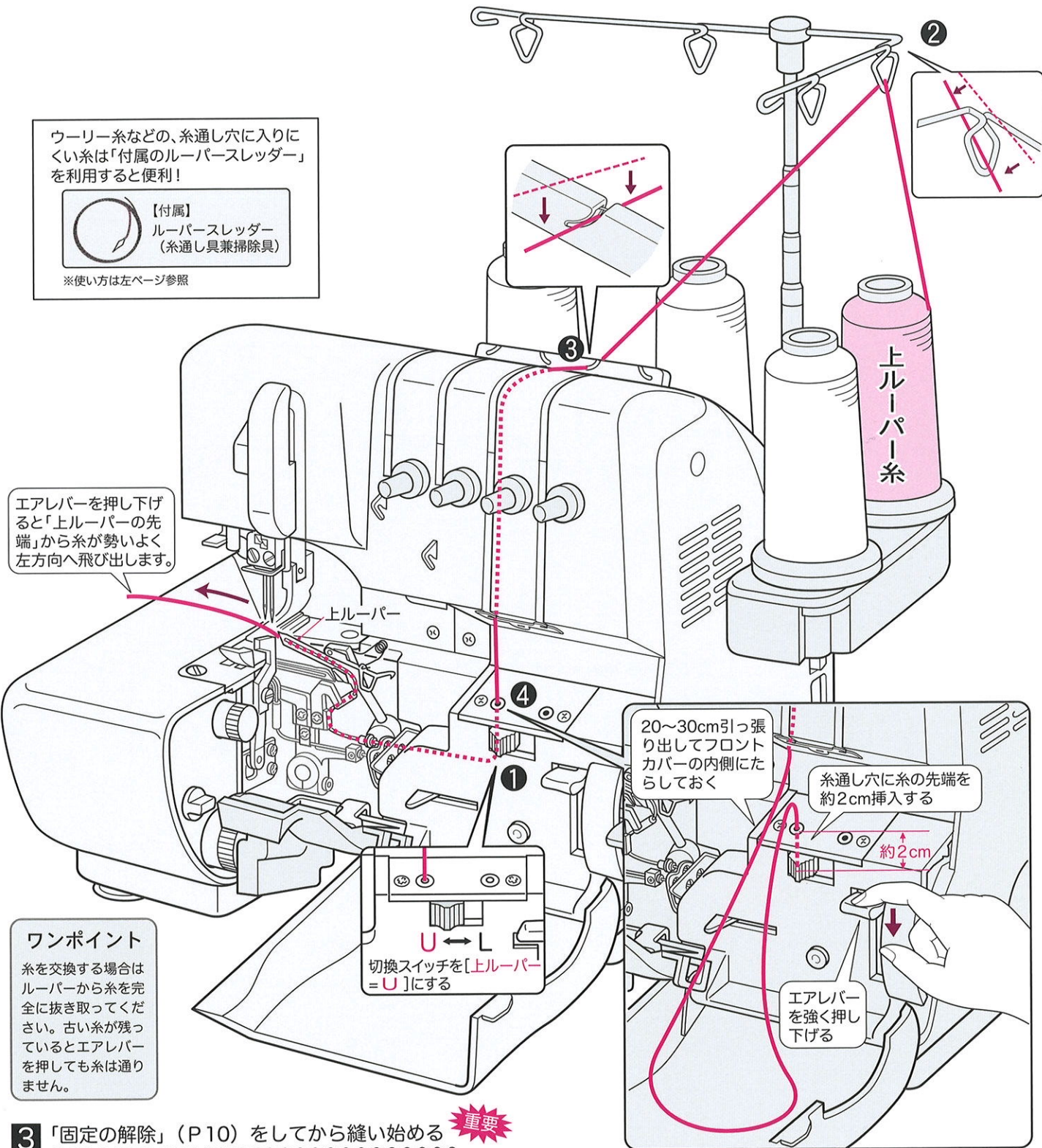


2 番号にしたがって糸をかけていく。

ウーリー糸などの、糸通し穴に入りにくい糸は「付属のルーパースレッダー」を利用すると便利!



※使い方は左ページ参照



エアレバーを押し下げると「上ルーパー」の先端から糸が勢いよく左方向へ飛び出します。

上ルーパー

20~30cm引っ張り出してフロントカバーの内側にたらししておく

糸通し穴に糸の先端を約2cm挿入する

約2cm

エアレバーを強く押し下げる

ワンポイント

糸を交換する場合はルーパーから糸を完全に抜き取ってください。古い糸が残っているとエアレバーを押しても糸は通りません。

U ← L
切換スイッチを[上ルーパー = U]にする

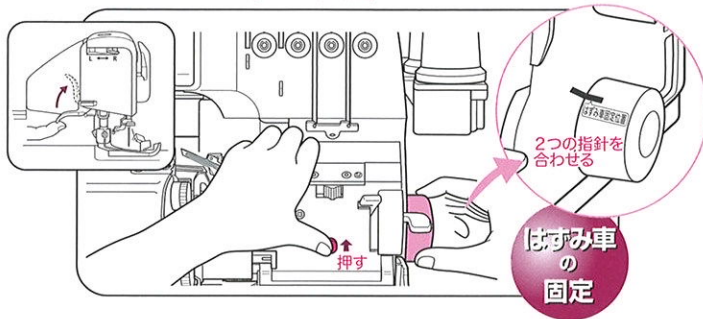
3 「固定の解除」(P10) をしてから縫い始める

重要

糸かけ

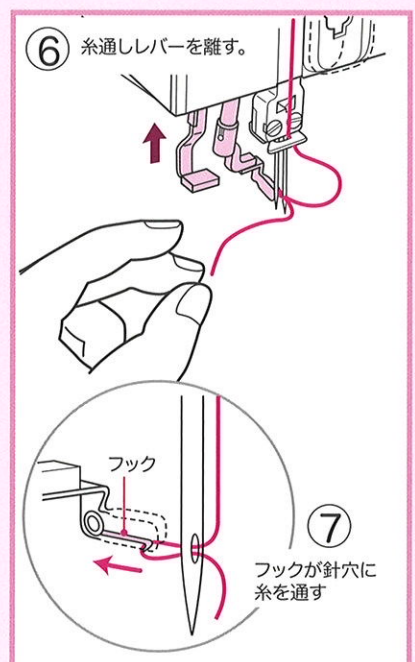
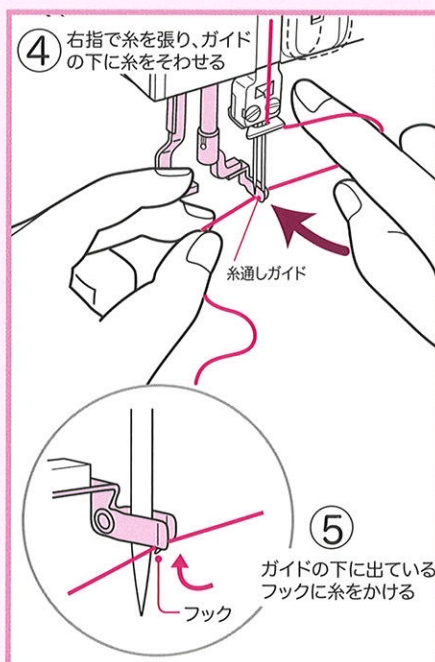
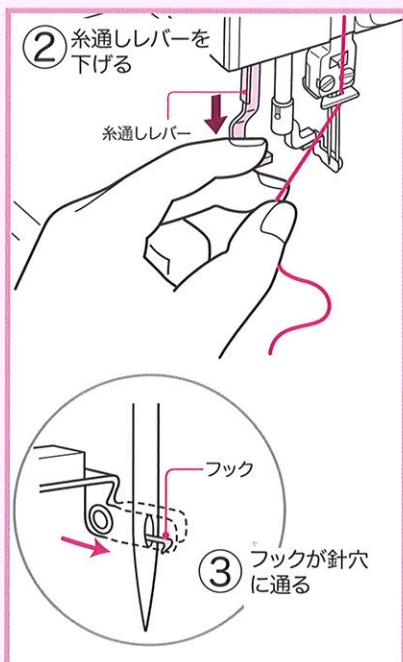
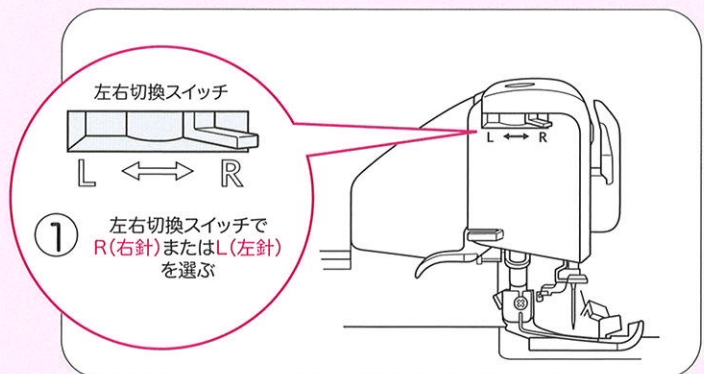
針糸

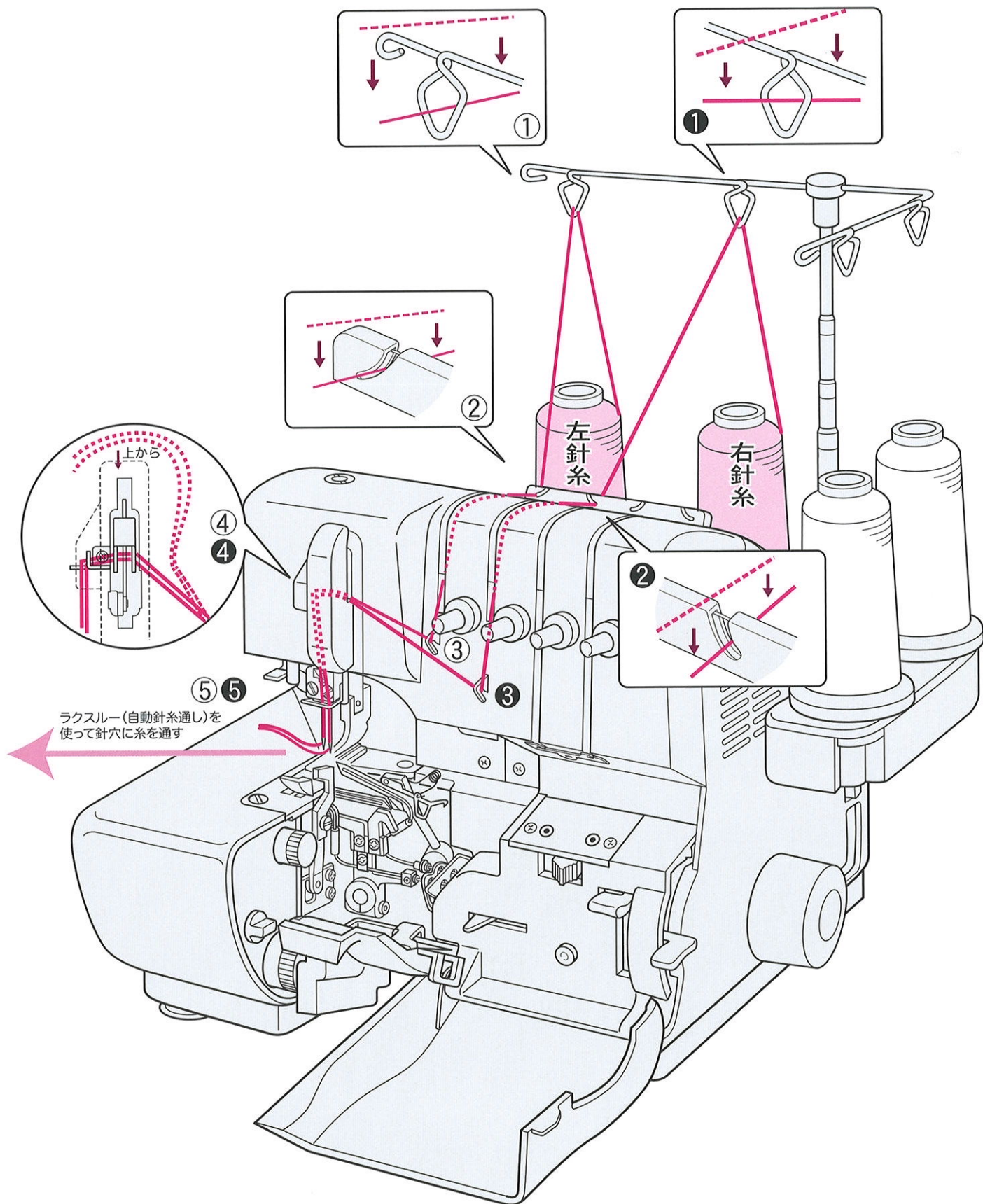
- 重要**
1 糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P10参照)



- 2 番号にしたがって糸をかけていく。

⑤⑥ ラクスルー(自動針糸通し)の使い方





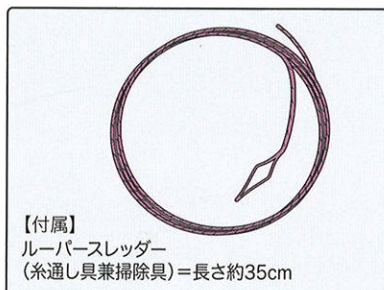
3 「固定の解除」(P10) をしてから縫い始める **重要**

太い糸のかけ方

極細毛糸や刺繍糸など

【エアスルーパイプを通さない糸のかけ方】

飾り糸として使われるような太い糸や飾り糸を、ルーパー糸として使用したい場合は、エアスルーシステム(自動エア糸通し)のパイプに入らない場合があります。そのような時は下記のように付属の「ルーパースレッダー」を使用して糸を通してください。

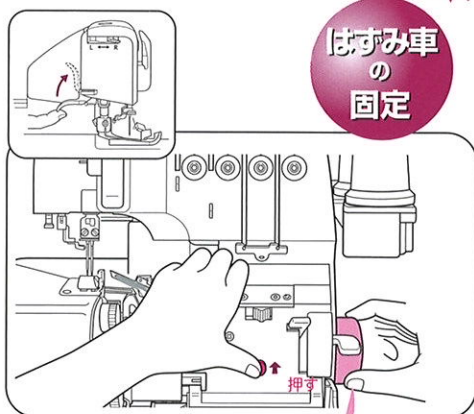


【付属】
ルーパースレッダー
(糸通し具兼掃除具) = 長さ約35cm



糸をかける場合は必ず「はずみ車の固定」を行ってください。(P10参照)

重要

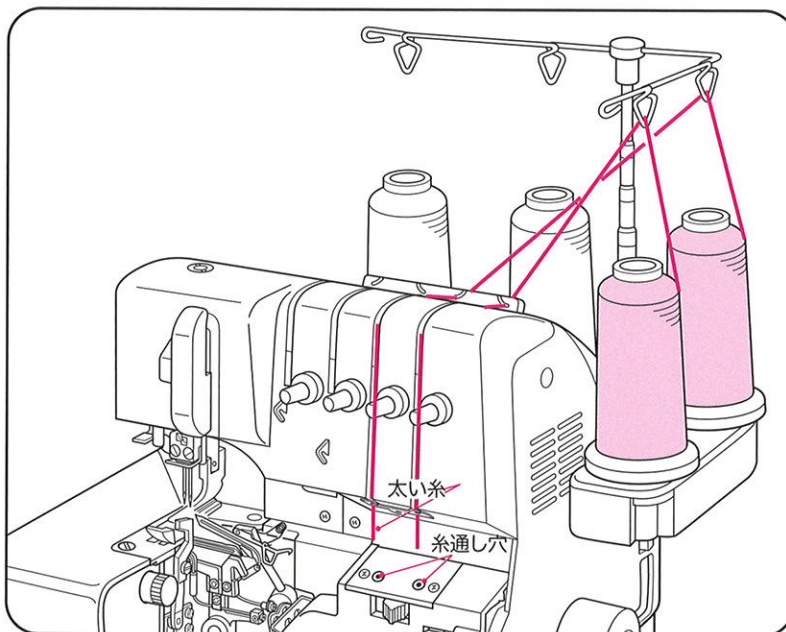


はずみ車の
固定



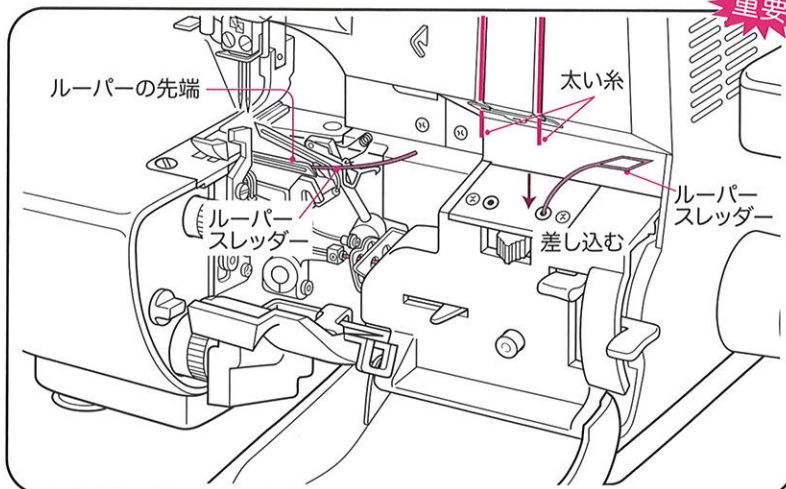
2つの指針を
合わせる

1 糸通し穴の手前まで、太い糸を通しておく。(P11、12参照)

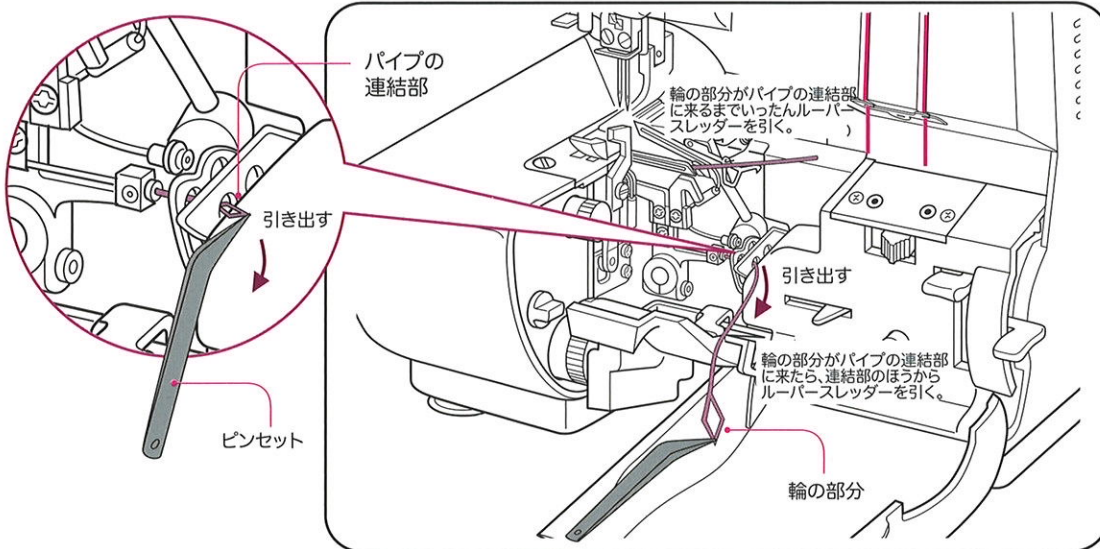


2 ルーパースレッダーを糸通し穴から差し込み、ルーパーの先端から少し出しておく。その後、「固定の解除」を行う(P10参照)

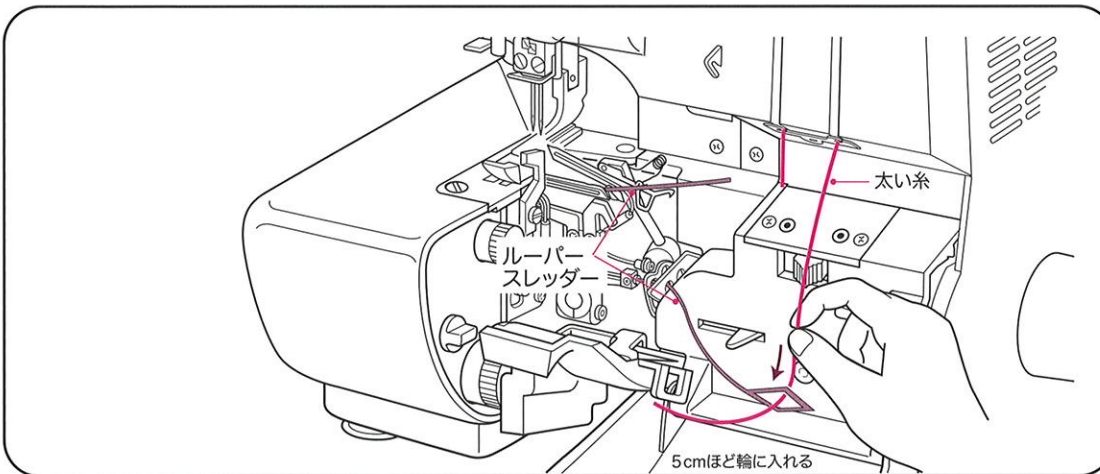
重要



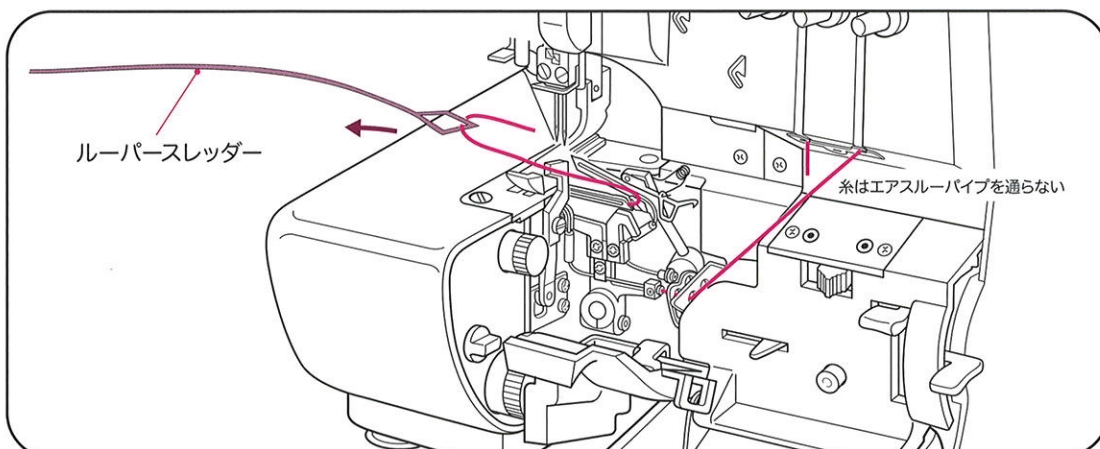
- 3** いったんルーパーの先端からルーパースレッダーを引き、ルーパースレッダーの輪の部分がパイプの連結部に来たら、逆に連結部のほうからピンセットで輪の部分を少し引っ張り出す。



- 4** ルーパースレッダーの輪の部分に太い糸を5cmほど入れる。



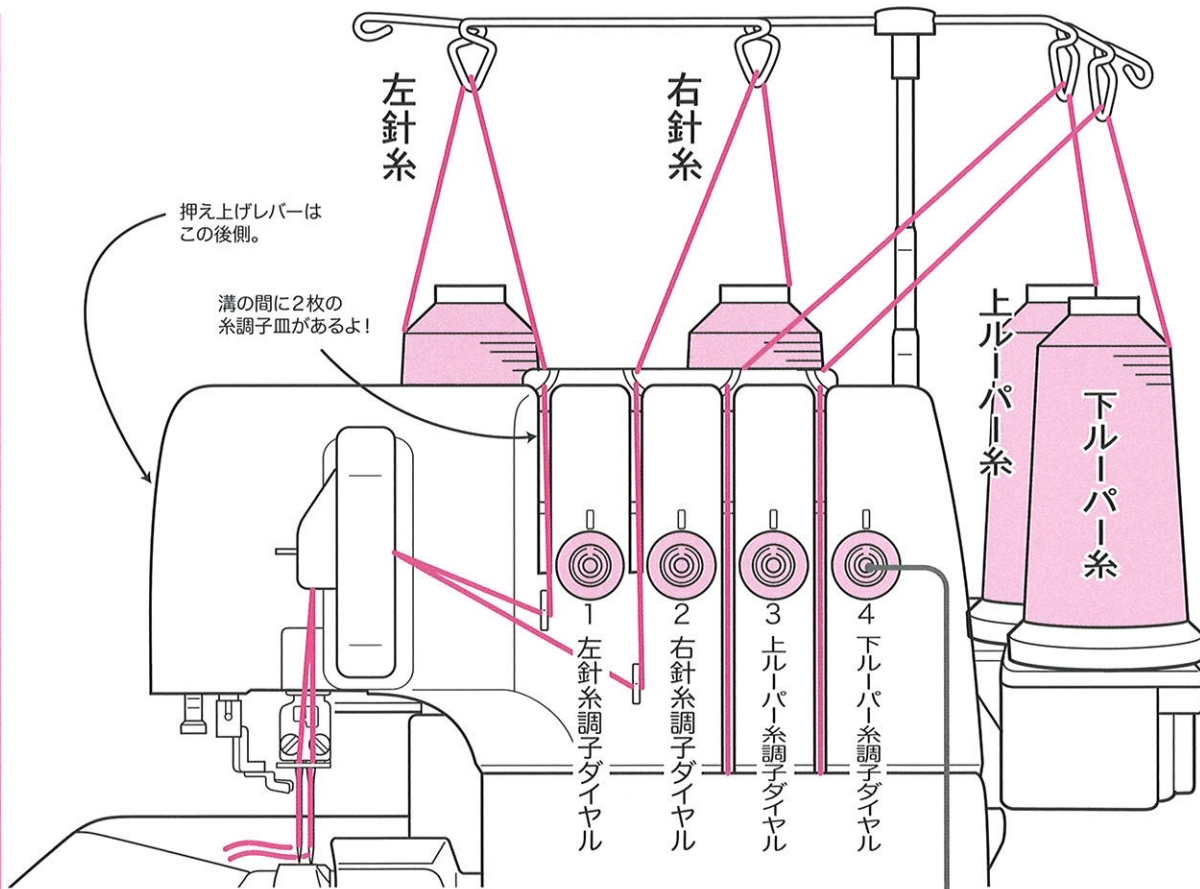
- 5** 再びルーパースレッダーをルーパーの先端から引き出します。



5

糸調子

このミシンは、多くの場合、糸調子のダイヤル“4”で縫い目のバランスがとれるようになっていますが、布地の種類や厚さ、また糸の種類や太さによって、縫い目が乱れる場合があります。その場合は、バランスのとれた美しい縫い目になるように、各糸調子ダイヤルで調整してください。



数字が小さくなるにしたがって糸調子は弱くなる。

数字が大きくなるにしたがって糸調子は強くなる。

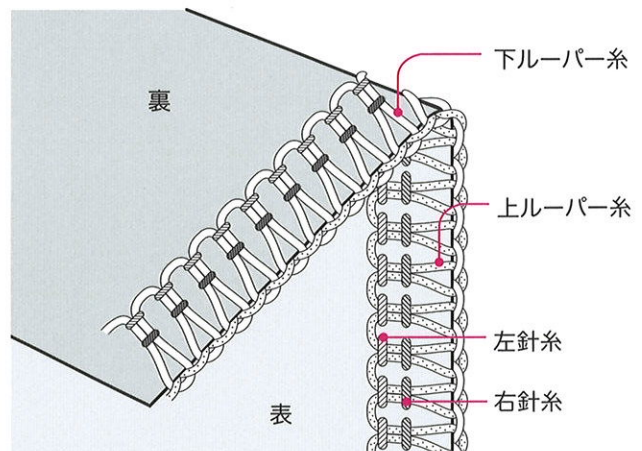
バランスのとれた美しい縫い目

※縫い合わせをするときは、縁かがりをするときよりも、左針糸調子を少し強めにします。

ワンポイント

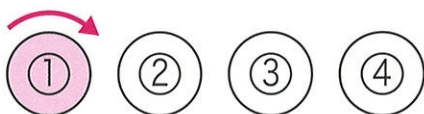
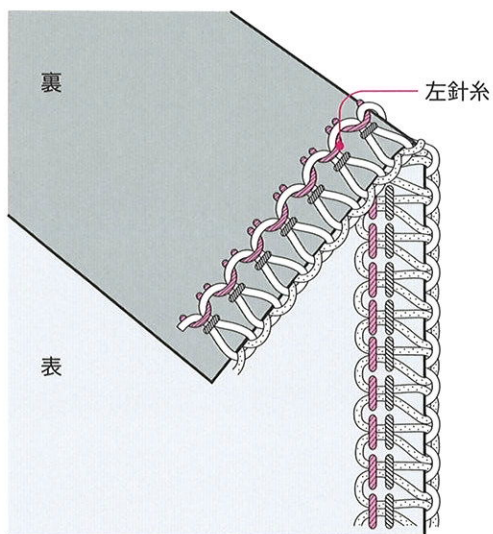
縫い目がきれいにできない場合や糸調子ダイヤルをいくら回しても糸調子がとれない場合は、溝の間にある2枚の糸調子皿から糸が、はずれていることがあります。この2枚の皿で糸をはさみ、縫い目を整えています。ここから糸がはずれるときれいな縫い目になりません。

押え上げレバーを上げると、この皿が開くので、もう一度溝に糸を入れ直してください。入れ直した後、押え上げレバーを下げることを忘れないで!

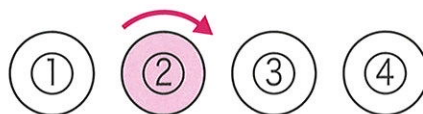
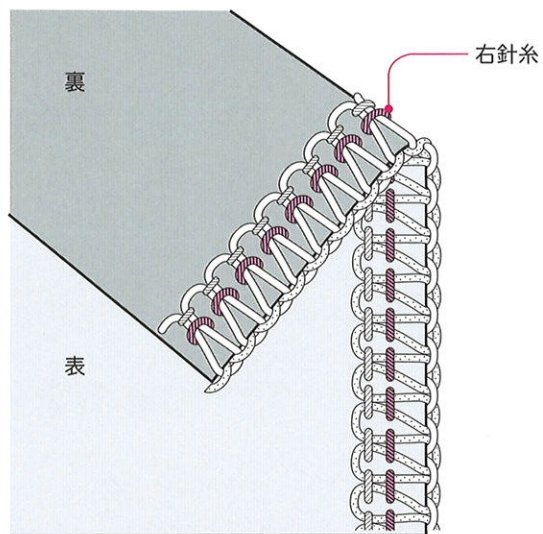


糸調子のとり方

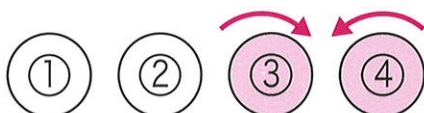
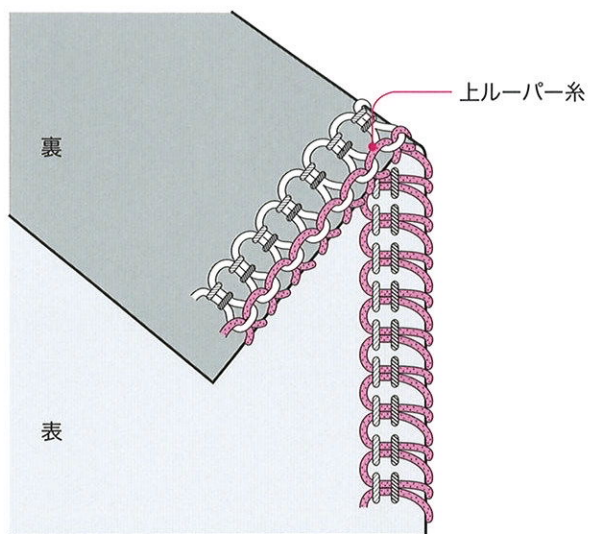
【左針糸が弱すぎる場合】



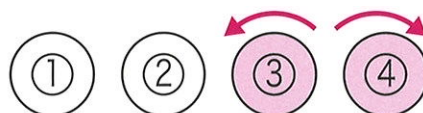
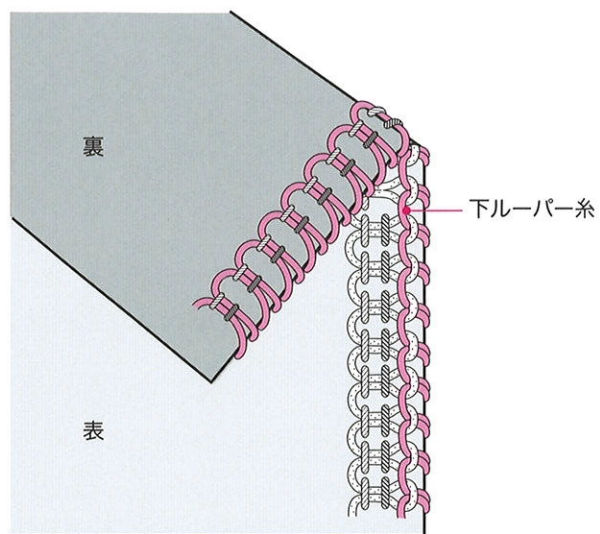
【右針糸が弱すぎる場合】



【上ルーパー糸が裏側に巻き込む場合】

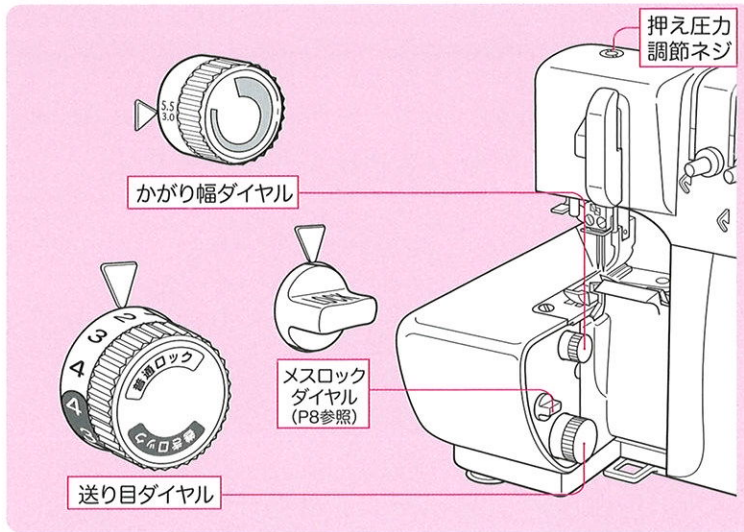


【下ルーパー糸が表側に巻き込む場合】



6

かがり幅、送り目、押え圧力の調節



押え圧力の調節

滑りやすい生地や厚い生地を何枚も重ねて縫う場合など、押え圧力を調節したほうが縫いやすい場合があります。

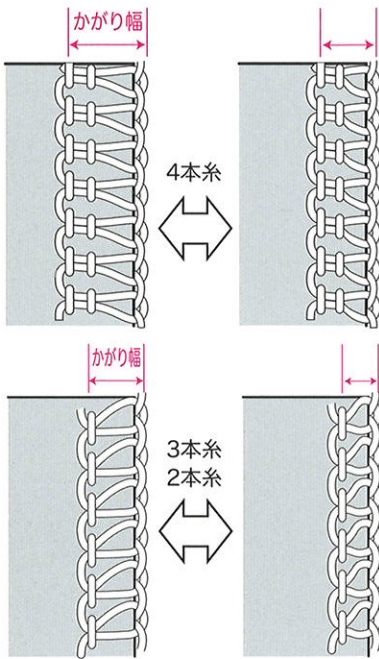
コインなどで「押え圧力調節ネジ」を回して調節してください。

押え圧力調整ネジ

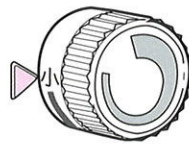
強くなる ← → 弱くなる

このミシンは、工場出荷時にほとんどの生地に合うように調節されていますので、普段はあまり調節する必要はありません。

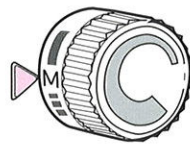
かがり幅の調節



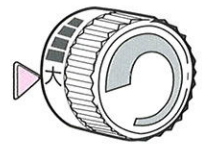
4本糸および左針を使用した時の3本糸・2本糸



5.5mm幅

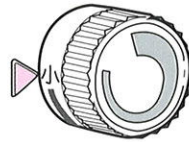


6.0mm幅

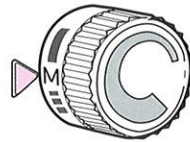


7.5mm幅

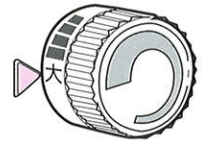
右針を使用した時の3本糸・2本糸



3.0mm幅

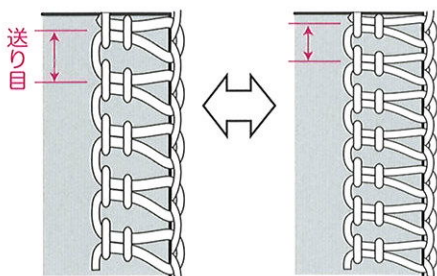


3.5mm幅



5.0mm幅

送り目の調節



普通ロック・巻きロックともに1～4mmの範囲で調節できます。



普通ロック



巻きロック

7

あこ〜でおん(差動)レバー

伸びやすいニットやジャージー、トリコットなどの生地や、逆に裏地のような縮みやすい生地を縫う場合は「あこ〜でおん(差動)レバー」を使うと、平にきれいに仕上げることができます。さらにギャザーを寄せたり、フレアスカートへのムのいせ込みの際に使用すると、とても便利です。



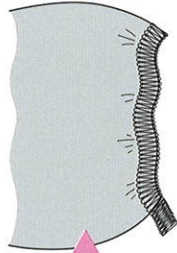

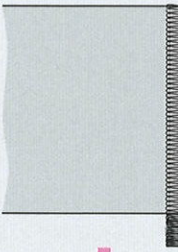




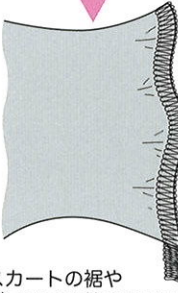



さらに縮み量を大きくしたいときは、付属の「バルキー押え」をご使用ください。(P25参照)



バルキー押え



 2 1.8 1.5 1.3 	縮み縫い	袖山のギャザー寄せ、フレアスカートへのムのいせ込み等 	ニット地、バイヤス部分等 	
Z	通常縫い		伸びてしまう生地 	縮んでしまう生地 
0.8 0.6  	伸ばし縫い	スカートの裾やブラウスの衿のフリル等 		裏地の縁ががり、薄地の巻きロック等 

8

3本糸ロックでの縫い方

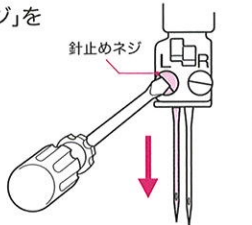
このミシンは、【1本針3本糸】でも縫うことができます。ピンタックや空環ブレードのほか、【巻きロック（右ページ参照）】も、通常はこの1本針3本糸で縫います。

右針または左針のどちらかを取り外すだけで、3本糸縫いができます。

- 右針を使用する場合=かがり幅が3.0~5.0mm
使用糸：右針糸・上ルーパー糸・下ルーパー糸
- 左針を使用する場合=かがり幅が5.5~7.5mm
使用糸：左針糸・上ルーパー糸・下ルーパー糸

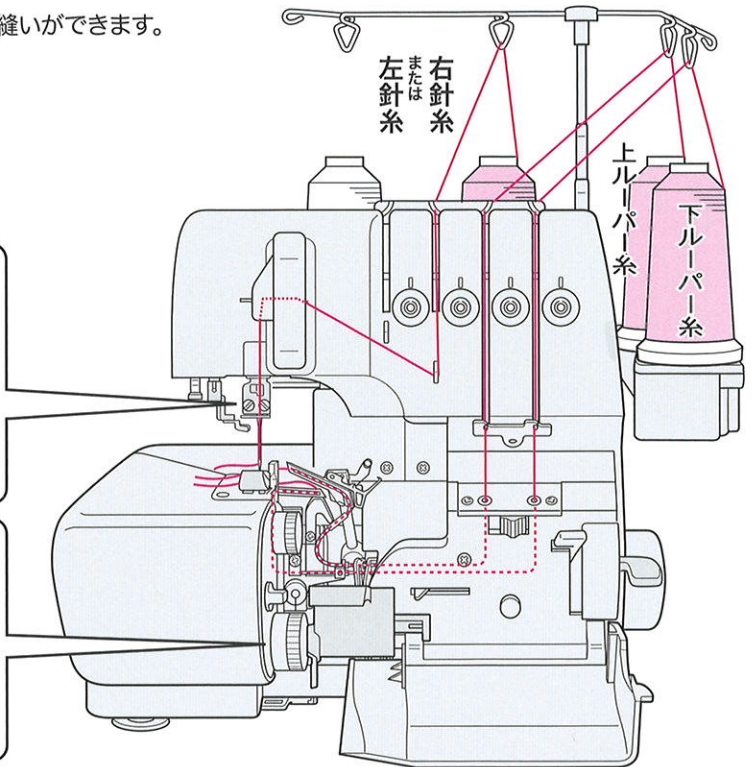
右針または左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本外します。

【註】 針を取り外した後、必ず針止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。



【註】 針を抜いたほうの糸は必ずいっしょに抜いてください。つけたままにしておくと部品に糸が絡まってしまう場合があります。

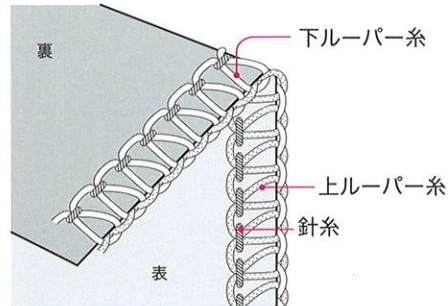
かがり幅ダイヤルは「普通ロック」側



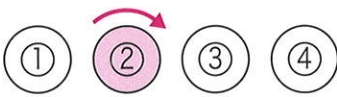
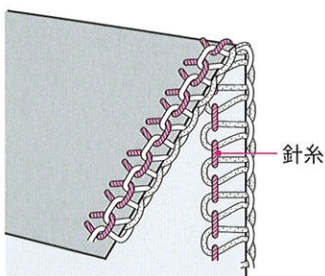
糸調子のとり方

バランスのとれた美しい縫い目

3本糸で縫う場合は、通常「右針」を使います。右針の方が糸調子がとりやすいからです。

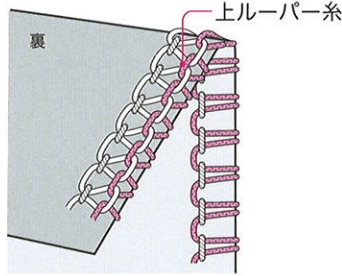


針糸が弱すぎる場合

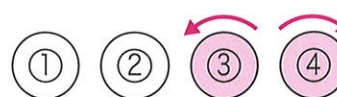
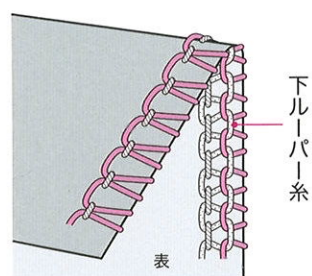


※左針を使用するときは①のダイヤルを強める。

上ルーパー糸が裏側に巻き込む場合



下ルーパー糸が表側に巻き込む場合



9

巻きロックでの縫い方

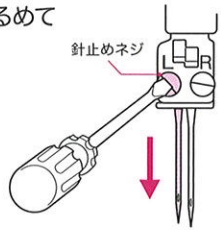
このミシンは、布端をひと折りしながら細くかがっていく【巻きロック】で縫うことができます。巻きロックには、「標準巻きロック」と「変形巻きロック」があります。オーガンジーやジョーゼットなどの薄地の装飾的なかがり縫いに最適です。

【巻きロック】は通常、右針1本の1本針3本糸で縫います。

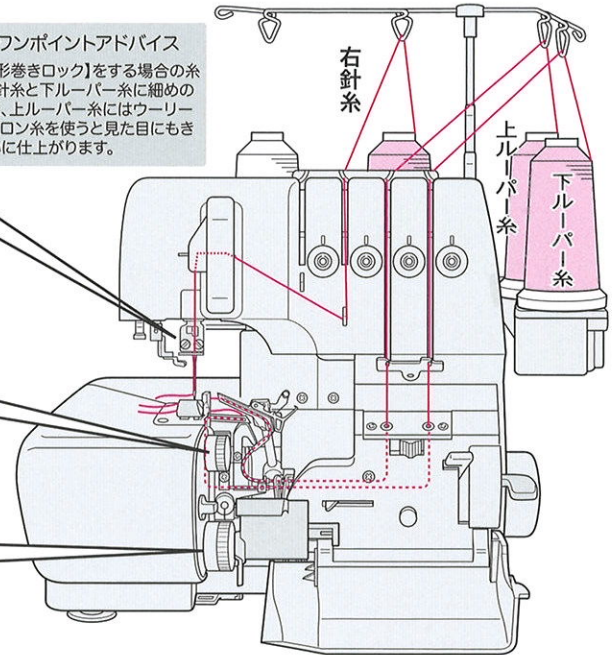
使用糸：右針糸・上ルーパー糸・下ルーパー糸

左針の「針止めネジ」をゆるめて左針を外します。

【註】針を取り外した後、必ず止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。

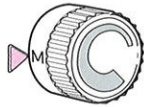


ワンポイントアドバイス
【変形巻きロック】をする場合の糸は、針糸と下ルーパー糸に細めの糸を、上ルーパー糸にはウーリーナイロン糸を使うと見た目にもきれいに仕上がります。



「かがり幅ダイヤル」をMに合わせる。

【Mは標準値です。生地の種類や好みによって調節してください】



「送り目ダイヤル」を【巻きロック】の数字 1~4 に合わせる。
(生地の種類や好みによって)

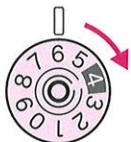


糸調子のとり方

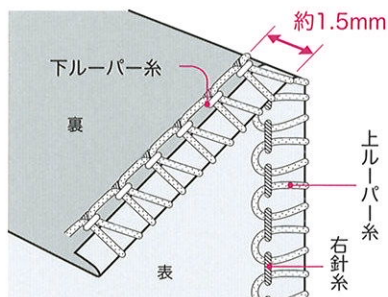
【変形巻きロック】のバランスの取れた美しい縫い目

※通常「巻きロック」といえばこの「変形巻きロック」を指します。

「変形巻きロック」は下ルーパーの糸調子の数値を普通ロックの時よりも2~3強めてください。

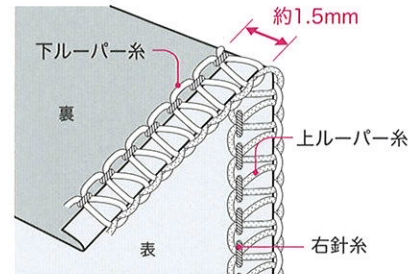


下ルーパー糸調子ダイヤル



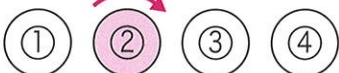
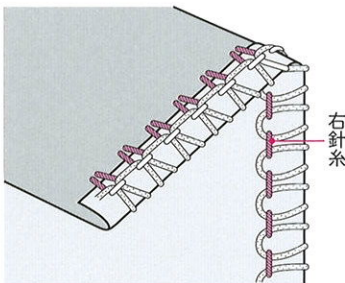
上ルーパー糸が、布端を裏側に巻き込みながら細くかがります。上ルーパー糸にウーリー糸を使用すると、細い縫い目が強調され印象的です。

【標準巻きロック】のバランスの取れた美しい縫い目

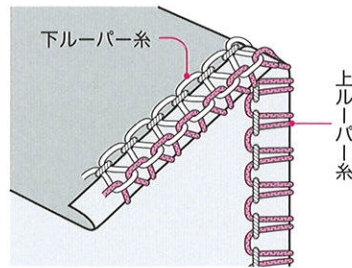


布端をひと折りしながら、細くかがりますが、縫い目の形状は普通ロックと同じです。かがりの厚みを出さず、きれいなシルエットに仕上げることができます。

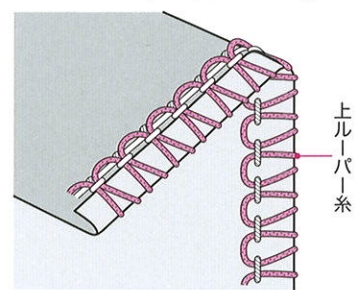
針糸が弱い場合



上ルーパー糸が強すぎる、または下ルーパーが弱すぎる場合



上ルーパー糸が弱すぎる場合



10

2本糸ロックでの縫い方

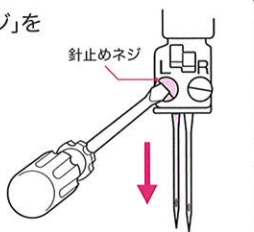
このミシンは、【1本針2本糸】でも縫うことができます。主に飾りステッチなどに使います。

右針または左針のどちらかを取り外します。

- 右針を使用する場合=かがり幅が3.0~5.0mm
使用糸：右針糸・下ルーパー糸
- 左針を使用する場合=かがり幅が5.5~7.5mm
使用糸：左針糸・下ルーパー糸

右針または左針の「針止めネジ」をゆるめて針を1本外します。

針を取り外した後、必ず針止めネジはしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。



註

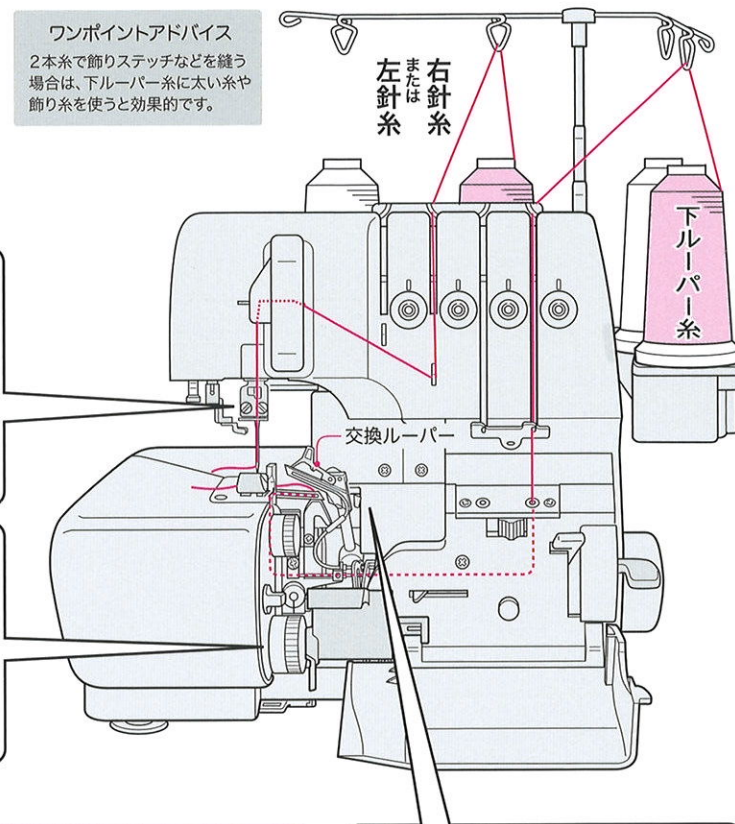
4・3本糸から切り換えるときは、使わない糸を必ず抜いてください。つけたままにしておくと部品に糸が絡まってしまうことがあります。

かがり幅ダイヤルは「普通ロック」側



ワンポイントアドバイス

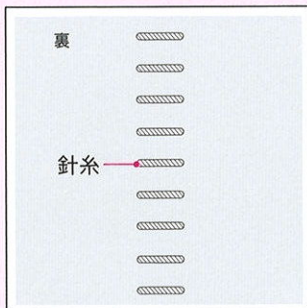
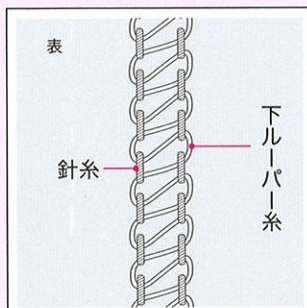
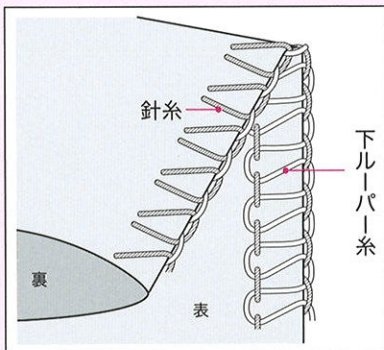
2本糸で飾りステッチなどを縫う場合は、下ルーパー糸に太い糸や飾り糸を使うと効果的です。



2本糸ロックはほとんどの場合は、飾り縫いで使われます。

『代表的な使われ方』

- 1 メス固定ツマミを「固定」側にする。
- 2 糸調子を、針糸と下ルーパー糸共に弱くする(場合によっては0)。
- 3 生地を二つ折りにして、その折り山の端を縫っていく。このとき、固定したメスをガイドにすると縫いやすい。
- 4 縫い終わったら、生地を広げる。



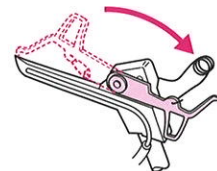
交換ルーパーを上ルーパーの先端の穴に入れます。

重要



2本糸から4・3本糸・巻きロックに切り換える場合は、必ず交換ルーパーを元の位置に戻してください。

重要



注意 ケガをする恐れがあります。

針の交換やメスの交換、掃除をする場合などは、必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

針の交換

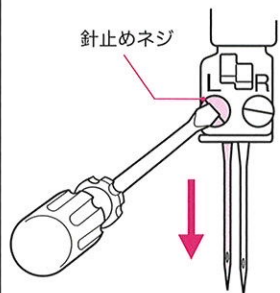
針は消耗品です。針先が曲がったり、磨耗していると糸切れや目飛びの原因になります。早めに交換してください。

このミシンの針は必ず **オルガンHA×1SP** をご使用ください。

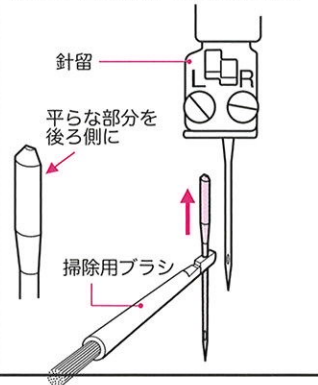
この針以外は使用できません。ただし、特に針どおりの悪い生地を縫う場合は「オルガンHA×1」の針の使用をおすすめします。

1 はずみ車を回して、針を一番上まで上げます。

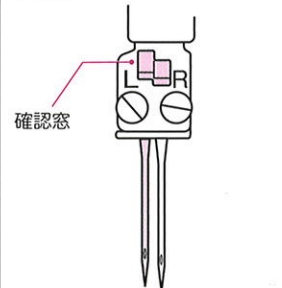
2 付属のドライバーで針止めネジをゆるめて、針をはずす。



3 新しい針を付属の掃除用ブラシに差し込み「針頭部の平らな面」が後ろ向きになるようにして、針留の穴の奥まで差し込む。



4 確認窓で針が一番奥まで差し込まれていることを確認してから、針止めネジをしめる。

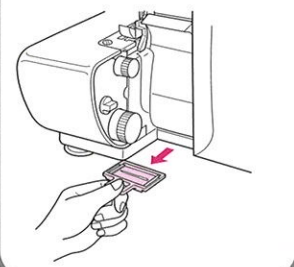


注

4本糸から3・2本糸へ切り換えるとき使わないほうの針の止めネジも必ずしめておいてください。ゆるめたままだと、取れてなくなってしまう場合があります。

ワンポイント

針をメスカバーの奥に落としてしまった場合は、ミシン底部にある取り出し口から取り出してください。



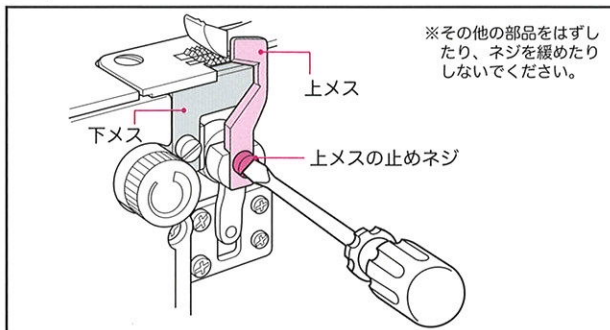
メスの交換

メスは消耗品です。メスが切れなくなった場合は、通常「上メス」を交換してください。

1 フロントカバーとメスカバーを開く。

2 はずみ車を回して、上メスを最下点にする。

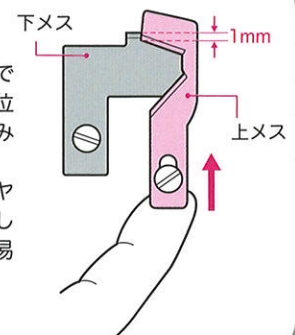
3 上メスの止めネジをゆるめて、上メスをはずす。



4 新しい上メスを取り付け、下メスに対して、上メスの刃先が1mm程度沈み込んだ位置で上メス止めネジをしめる。

ワンポイント

上メスを最下点にして指先で上メスを下から押し上げた位置がだいたい1mm程度沈み込んだ位置になります。このとき、「かがり幅ダイヤル」の目盛りを最小位置にしておくと取り付け作業が容易に行えます。



掃除と注油について

このミシンは特殊な材質を使用しているため油を注す必要はありませんが、切りながら縫うことが多いため、切りクズがたまります。掃除機を使って埃を吸い取るか、付属の掃除用ブラシを使って払ってください。

また、音が高くなったりした場合は、駆動部(動いている部分)に1~2滴、ミシン油を注してみてください。

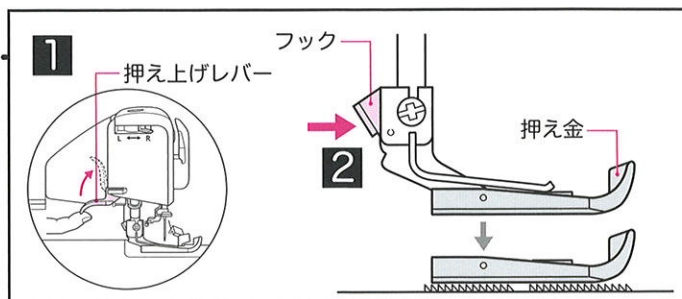
注 エアスルーシステムのパイプの穴部分には絶対に油を入れないでください。

押え金の取り付け・取り外し方

専用アタッチメント（各種押え金）を使用する場合の、押え金の取り付け・取りはずしは、下記の要領で行ってください。

【取りはずし方】

- 1 押え上げレバーで押え金を上げる。
- 2 フックを押すと押え金はずれる。

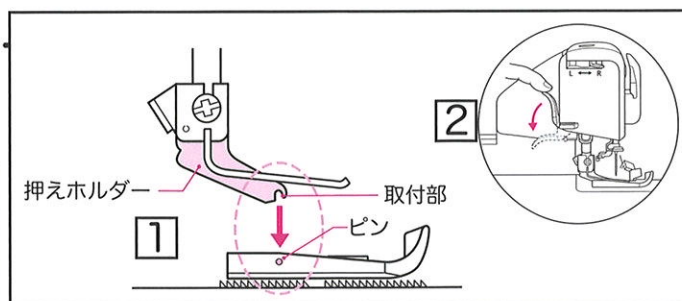


【取り付け方】

- 1 押えホルダーの取付部の真下に、押え金のピンがくるように置く。
- 2 押え上げレバーを下げる。

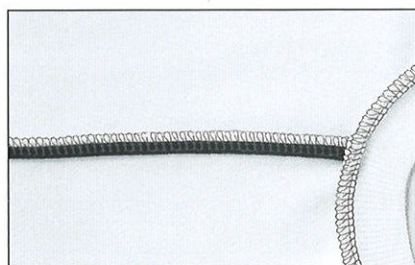
ワンポイント

押え金が入りにくい場合は、押え上げレバーをさげたままフックを押してください。

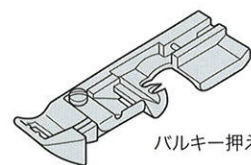


バルキー押えの使い方

付属の「バルキー押え」は、
 ●あこ〜でおん(差動)を使って縮み縫いをするとき、より縮み量を多くしたり、
 ●右のように、縁かがりと同時に、伸び止めテープ(ウーリースピントープ)や各種テープを入れることができます。テープの入れ方は下記の通り。

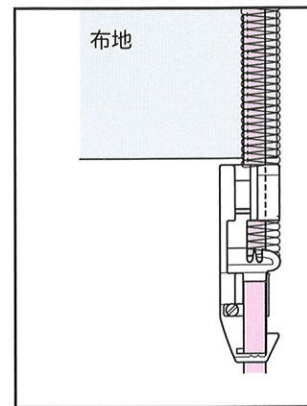
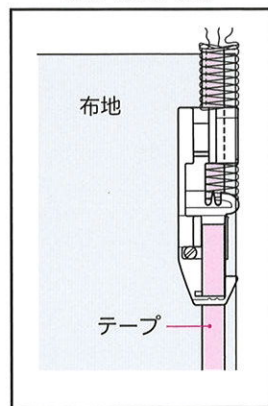
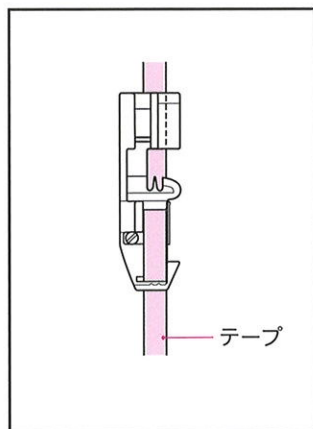


肩部分の合わせ縫いに最適



バルキー押え

- 1 バルキー押えにテープを通しておく。
- 2 針を一番上に上げ、上記の押え金の【取り付け方】を参照にして「バルキー押え」を取り付ける。
- 3 空縫いしてから、布地を入れて縫い始める。
- 4 縫い終わりはテープだけを数cm縫ってからミシンを止める。



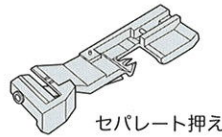
注意 ケガをする恐れがあります。

押え金の交換をする場合などは、必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

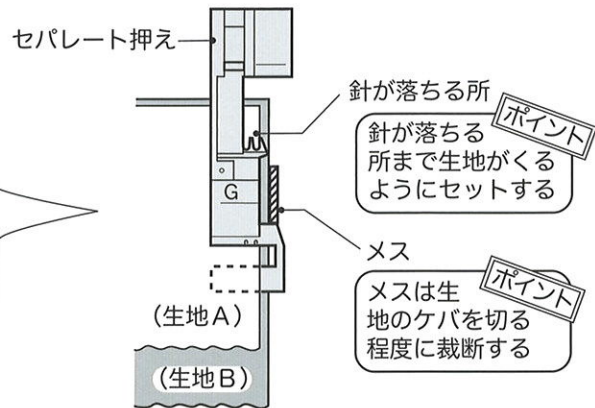
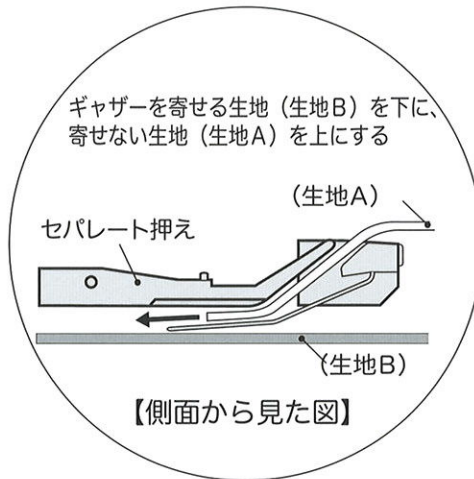
セパレート押えの使い方

二枚の生地を縫い合わせるとき、片方の生地だけにギャザーを寄せて縫い合わせることができます。生地を引っ張ったりしなくても、あこ〜でおん(差動)を使って、自然に好みのギャザーを寄せることができるので、ヨークの切替えやティアードのスカートの切替え等に使うと便利です。

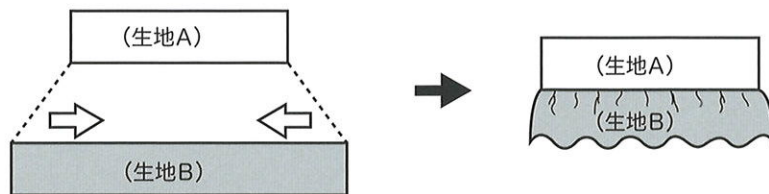
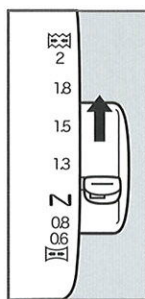
- 1 2本針4本糸で縫う。
- 2 付いている押え金はずして、付属の『セパレート押え』を取り付ける。
- 3 送り目を3mmまたは4mmにする。
- 4 押え金を上げてから生地を、下の図のようにセットする。



フリル付け



【真上から見た図】



ギャザーの寄せ加減はあこ〜でおん(差動)レバー(P20)で調整してください。



操作上の注意とポイント

ギャザーを寄せるほうの生地(上図生地B)は、左側に逃げやすく、また差動が入りやすいように手でサポートするとよい。

セパレート押えの使い方/別売アタッチメント各種



ケガをする恐れがあります。

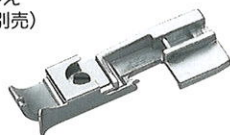
押え金の交換をする場合などは、必ず電源を切ってください。通電したままだとミシンが急に動くなど危険です。

別売アタッチメント各種

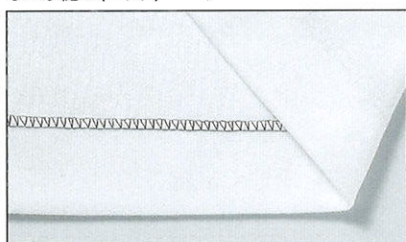
別売のアタッチメント(押え金)に交換すれば、ビーズ入れやゴム入れ、コードパイピング付けなど、いろいろな縫い方が楽しめてソーイングの幅がグーンと広がります。

ATTACHMENT

ニット用裾まつり押え
2,100円(税込・別売)



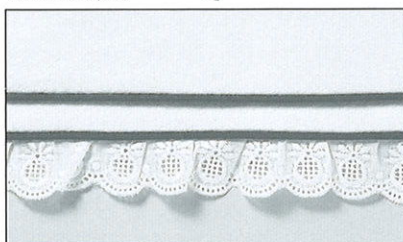
まつり縫い(ニット)



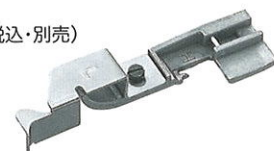
パイピング押え
3mm用/5mm用
各2,100円(税込・別売)



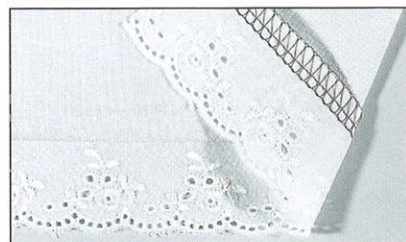
パイピング付け



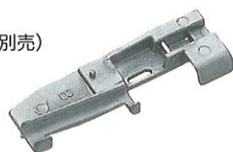
レース押え
2,100円(税込・別売)



レース付け



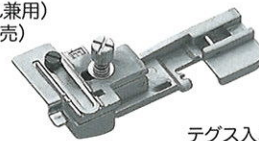
ビーズ押え
2,100円(税込・別売)



ビーズ入れ



ゴム押え(テグス入れ兼用)
3,150円(税込・別売)



ゴム入れ



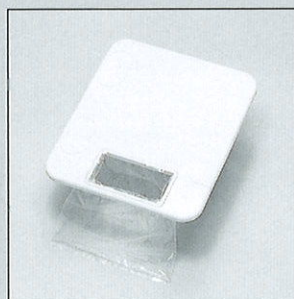
テグス入れ



切りクズを裁断と同時にまとめる トリムビン(切りクズ受け)

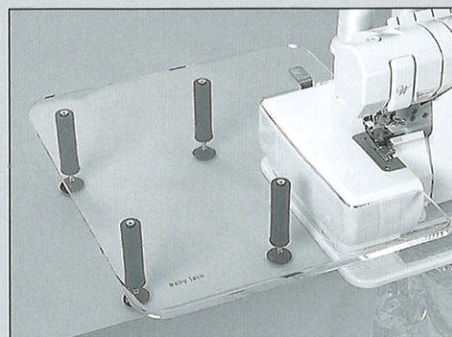
布を切った後の切りクズを、袋に受けてそのままポイ。ミシン本体の下に敷くだけで、ミシンまわりはいつもクリーン。

1,890円(税込・別売)

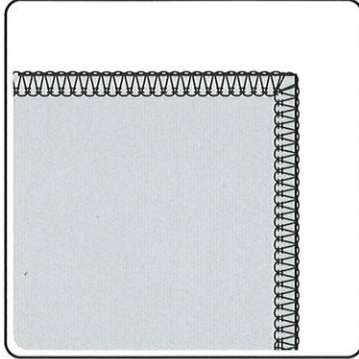


手元がよりワイドに使える専用クリアテーブル

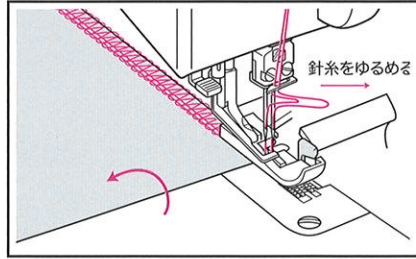
大きな布地を縫うときに便利なクリアテーブル。手元がよりワイドに使い、効率よく作業ができます。9,450円(税込・別売)



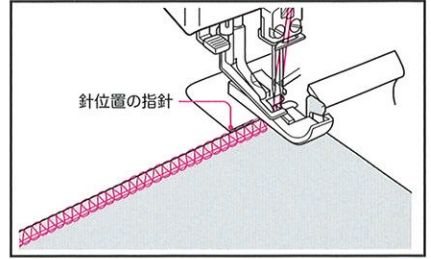
外角を縫うときのポイント



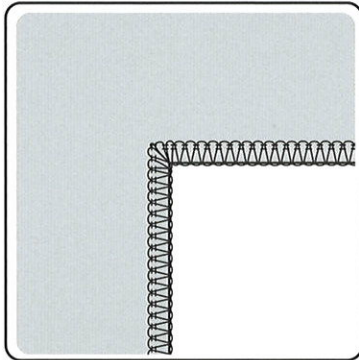
1 角まで来たら、針を上へ上げ、針糸をゆるめる。



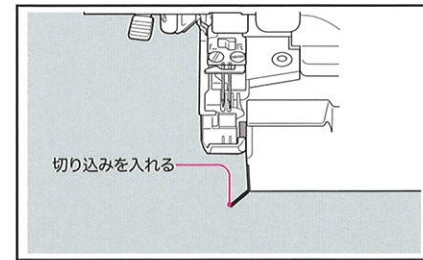
2 針板にある針位置指針を目安にして、生地を90度回転させる。



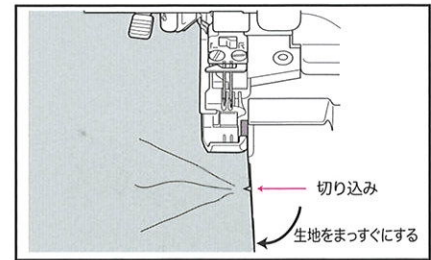
内角を縫うときのポイント



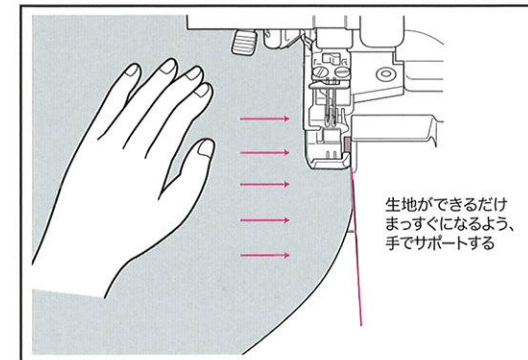
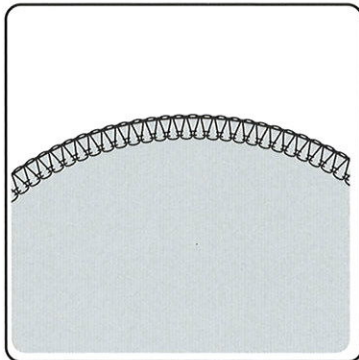
1 最初に内角部分に2~3mmの切れ込みを入れておく。



2 角の手前まで来たら、生地を開いて、まっすぐにしてから縫う。



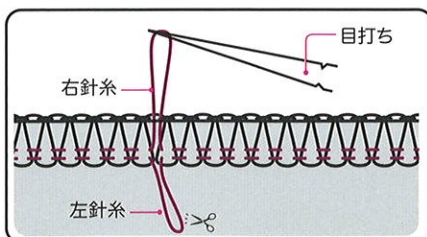
カーブを縫うときのポイント



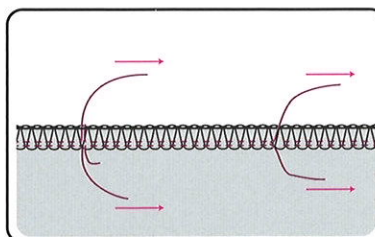
針落ち位置からメス位置までの間、生地がまっすぐになるように、手で生地を右側にサポートしながら縫う。メスを固定して、メスをガイドにして縫うと縫いやすい。

縫い目のほどき方

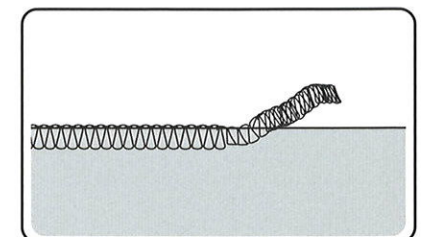
1 右針糸と左針糸を数カ所、目打ちなどを使って引き出し切る。



2 右針糸と左針糸をそれぞれ引っ張って取り除く。



3 針糸が取れるとルーパース糸は簡単に生地からはずれる。



15 修理を依頼される前に

ミシンが動かない等の異常がありましたら、修理を依頼される前に下記のことをご確認ください。

状 況	確認内容	参照ページ
ミシンが動かない！	<input type="checkbox"/> 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。……………	6
	<input type="checkbox"/> 照明ライトスイッチが [I] になっていますか。……………	6
	<input type="checkbox"/> はずみ車の「固定の解除」がされていますか。……………	10
まったく縫えない！	<input type="checkbox"/> 押え金下がっていますか。……………	7
普通ロックが うまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [普通ロック] 側の数字になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> 糸調子は適切ですか。……………	17・18
	<input type="checkbox"/> 糸調子皿から糸がはずれていませんか。……………	17
	<input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。……………	20
巻きロックが うまく縫えない！	<input type="checkbox"/> 送り目ダイヤルが [巻きロック] 側の数字になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> かがり幅ダイヤルが [M] になっていますか。……………	19
	<input type="checkbox"/> あこ〜でおんレバーの位置は適切ですか。……………	20
	<input type="checkbox"/> 糸調子は適切ですか。……………	22
目とび、糸切れがする！	<input type="checkbox"/> 針は指定の [オルガンHA×1SP] がついていますか。……………	24
	<input type="checkbox"/> 針は針留の穴の一番奥まで入っていますか。……………	24
	<input type="checkbox"/> 曲がったり、針先が磨耗している針がついていませんか。……………	24
	<input type="checkbox"/> 糸かけが間違っていないですか。……………	11～14
	<input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。……………	11～14
	<input type="checkbox"/> 古い糸を使用していないですか。……………	9
メスが布地を切らない！	<input type="checkbox"/> メス固定ダイヤルが [固定] になっていませんか。……………	8
	<input type="checkbox"/> 上メスが磨耗していませんか。……………	24
エアレバーを押しても 糸が通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。……………	10
	<input type="checkbox"/> ルーパー糸通し上下切換スイッチの位置は正しいですか。……………	11・12
	<input type="checkbox"/> 糸通し穴に糸が約2cm挿入されていますか。……………	11・12
	<input type="checkbox"/> 糸通し穴の手前で糸を20cmほどたるませていますか。……………	11・12
	<input type="checkbox"/> 糸がどこかに引っ掛かっていませんか。……………	11・12
	<input type="checkbox"/> パイプの中にゴミがたまっていませんか。……………	11・12
ラクスルー（自動針糸通し）で 糸が針穴に通らない！	<input type="checkbox"/> 「はずみ車の固定」がされていますか。……………	10
	<input type="checkbox"/> 針糸通し左右切換レバーの位置は正しいですか。……………	13

アフターサービスについては、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

- 縫い形式：2本針4本糸オーバーロック
1本針3本糸オーバーロック
1本針2本糸オーバーロック
- かがり幅：2本針4本糸ロック 5.5~7.5mm
1本針3本糸・2本糸ロック 3.0~7.5mm
巻きロック 1.5mm (標準)
- 送り目：1.0~4.0mm
(縫い目の長さ)
- あこ~でおん比率：0.6~2.0
(差動比=伸ばし・縮みの比率)
- 縫い速度：毎分1,500針 (常用)
- 使用針：オルガン HA×1 SP (#11, #14)
- 使用糸本数：4本、3本、2本
- 照明ライト：100V 15W
- ミシンの大きさ：タテ 280× ヨコ 340× 高さ 290mm
- ミシンの重さ：7.5kg

付属品

コントローラー・ご使用のてびき・早見表・保証書・ミシンカバー・セパレート押え・バルギー押え・ドライバー・上メス・ピンセット・掃除用ブラシ (針交換用具兼用)・針 (HA×1 SP #11)・ルーバースレッダー (糸通し具)・とじ針

仕様の一部を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



